

帝國議會 貴族院議事速記錄第八號

去ル二十日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

臨時國庫證券法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵松平 賴壽君 副委員長 子爵三島彌太郎君

登錄稅法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵松平 直之君 副委員長 男爵肝付 兼行君

遠洋漁業獎勵法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵松浦 厚君 副委員長 男爵西大路吉光君

軍用自動車補助法案特別委員會

委員長 伯爵川村 鐵太郎君 副委員長 子爵樋口誠康君

朝鮮事業公債法中改正法律案外一件特別委員會

委員長 伯爵正親町實正君 副委員長 男爵眞田幸世君

大正五年法律第四號中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵松平 賴壽君 副委員長 子爵三島彌太郎君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

登錄稅法中改正法律案可決報告書
請願委員會特別報告第二號

去ル二十一日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

鐵道敷設法中改正法律案外一件特別委員會

委員長 侯爵細川護立君 副委員長 男爵小澤武雄君

東京帝國大學及京都帝國大學臨時政府支出金繢入ニ關スル法律案外一件

特別委員會

委員長 侯爵德川圀順君 副委員長 子爵豊岡圭資君

同日衆議院ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

未成年者飲酒取締ニ關スル法律案

同日請願委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

請願文書表第五回報告書

去ル二十二日政府ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

朝鮮人官吏ノ恩給、退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案

一昨二十三日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

家祿賞典祿處分ニ關スル法律案外一件特別委員會

委員長 伯爵柳原義光君 副委員長 子爵牧野忠篤君

貨幣法中改正法律案可決報告書

共通法案修正報告書

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

從三位勳一等 押川則吉君

去ル十八日薨去セラル依テ二十日弔辭ヲ贈レリ

去ル十九日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

貨幣法中改正法律案特別委員會

委員長 伯爵吉井幸藏君 副委員長 子爵八條隆正君

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

貴族院議事速記錄第八號

大正七年二月二十五日 議長ノ報告

大正七年二月二十五日 議長ノ報告

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

東京帝國大學及京都帝國大學臨時政府支出金繩入ニ關スル法律案可決報告書

帝國大學特別會計法中改正法律案可決報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

裁判所ノ設立ニ關スル法律案

大正二年法律第九號中改正法律案

同日衆議院ヨリ左ノ法律案ヲ提出セリ

醫師法中改正法律案

○議長（公爵德川家達君）是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一、深野一三君、男爵眞鍋斌君、豊川良平君、松尾廣吉君請暇ノ件、深野君病氣ニ付二十一日間、眞鍋男爵病氣ニ付二十四日間、豊川君病氣ニ付十三日間、松尾君病氣ニ付十一日間ノ請暇デアリマス、何レモ許可ヲ致シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

○議長（公爵德川家達君）御異議ナイト認メマス

○議長（公爵德川家達君）日程第二、朝鮮人官吏ノ恩給、退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案、政府提出、第一讀會、本日モ御異議ガナケレバ通牒文ノ朗讀ハ省略イタシタイト存ジマス

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕

〔左ノ送付文及議案ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕

朝鮮人官吏ノ恩給、退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案

右
勅旨ヲ奉シ帝國議會ニ提出ス

大正七年二月二十二日

内閣總理大臣伯爵寺内正毅

朝鮮人官吏ノ恩給、退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案

第一條 朝鮮人ノ舊韓國政府、統監府又ハ其ノ所屬官署ニ在官又ハ在職シ

タル月數及明治四十三年勅令第三百十九號第五項ノ規定ニ依リ官吏ノ待遇ヲ受ケタル在職月數ハ本法ノ定ムル所ニ依リ官吏恩給法、官吏遺族扶助法、明治四十五年法律第十一號ノ在官年數又ハ巡查看守退隱料及遺族扶助料法ノ勤續年數ニ通算ス

第二條 左ニ掲クル月數ハ之ヲ官吏恩給法及官吏遺族扶助法ノ在官年數ニ通算ス但シ年齢二十歳ニ満タル者ノ在官在職月數ハ此ノ限ニ在ラス

一 舊韓國政府、統監府又ハ其ノ所屬官署ノ文官判任以上ノ者ノ明治三十九年二月一日以後ノ在官月數

二 明治四十三年勅令第三百十九號第五項ノ規定ニ依リ官吏ノ待遇ヲ受ケタル者ノ其ノ待遇ヲ受ケタル在職月數

第三條 左ニ掲クル月數ハ之ヲ明治四十五年法律第十一號ノ學校職員ノ在官年數ニ通算ス但シ退職給與金ニ關シテハ明治四十四年十一月一日前ヨリ勤續シタル者ノ勤續月數ニ限リ之ヲ通算ス

一 舊韓國政府ノ文官判任以上ノ教官又ハ教育事務ニ從事スル者ノ明治三十九年二月一日以後ノ在官月數

二 明治四十三年勅令第三百十九號第五項ノ規定ニ依リ官吏ノ待遇ヲ受ケタル者ニシテ教育又ハ教育事務ニ從事シタルモノノ其ノ待遇ヲ受ケタル在職月數

第三條 左ニ掲クル月數ハ之ヲ巡查看守退隱料及遺族扶助料法ノ巡査ノ勤續年數ニ通算ス但シ一時金ニ關シテハ明治四十三年八月二十九日前ヨリ勤續シタル者ノ勤續月數ニ限リ之ヲ通算ス

一 舊韓國政府ノ權任又ハ巡檢ノ明治三十九年二月一日以後ノ在職月數ニ通算ス但シ一時金ニ關シテハ明治四十三年八月二十九日前ヨリ勤續シタル者ノ勤續月數ニ限リ之ヲ通算ス

二 舊韓國政府又ハ統監府ノ巡査ノ在職月數

第五條 舊韓國政府又ハ統監府ノ看守ノ在職月數ハ之ヲ巡查看守退隱料及遺族扶助料法ノ看守ノ勤續年數ニ通算ス但シ一時金ニ關シテハ前條但書ノ規定ヲ準用ス

第六條 前四條ノ規定ニ依リ在官在職月數ヲ通算スヘキ官職ニ在リタル者其ノ通算スヘキ在官又ハ在職中懲戒處分ニ依リ免官免職セラレ又ハ刑事裁判ニ依リ失官失職シタルトキハ其ノ免官免職又ハ失官失職前ノ在官在職月數ニ付本法ヲ適用セス

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本法ハ本法施行後退官又ハ退職シタル者及在官又ハ在職中死亡シタル者ノ遺族ニ限り之ヲ適用ス

〔政府委員白仁武君演壇ニ登ル〕

○政府委員(白仁武君) 本案ハ舊韓國政府ノ官吏以下及統監府時代ノ官吏等ニシテ爾後引續キ奉職ヲ致シテ居リマスル者ガ、追々年數ガ經チマスルニ從ツ

テ退官、退職イタス者ガアリマス、ソコデ恩給及遺族扶助料等ノ計算ヲ致シマスルニ當ツテ、併合前……日韓併合前ノ奉職年數ヲ今日ノ規則ニ依リマスレバ通算スルコトハ出來マセヌノデアリマス、デ是ハ統監府設置以來、併合ニ至リマス間ノ年月數ト云フモノハ、假令韓國政府ノ役人トシテ奉職イタシ、統監府ノ役人トシテ奉職イタシテ居リマシテモ、其實ハ唯今ノ總督府ニナリマシテ以來ノ勤務ト其情實、同様デアリマス、又新附ノ臣民ヲ愛撫スル上ニ於キマシテハ、其年數ヲ計算シテヤラナイト云フコトハ聊カ國家ガ官吏ヲ優遇スル上ニ於テ缺クル所アルノ感ガ致シマスルニ依ツテ、統監府設置事務開始後ヨリ日韓合併ニ至リマスル間ノ四年バカリノ年數ヲ、恩給或ハ遺族扶助料等ヲ下賜イタシマスルニ當ツテ、在官ノ年月數ニ加算イタシタリト云フ次第デゴザリマス、法文ハ僅カ六條ニナッテ居リマス、極ク簡單ナモノデアリマスカ

○議長(公爵德川家達君) 別ニ御質問ハナイト認メマスカラ、特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔成瀬書記官朗讀〕

朝鮮人官吏ノ恩給、退隱料及遺族扶助料等ニ關スル法律案特別委員

伯爵清閑寺 經房君 子爵今城 定政君 男爵宇佐川 一正君
石塚 英藏君 荒井 賢太郎君 男爵竹腰 正己君
男爵藤大路 親春君 男爵北大路 實信君 平山 浪三郎君

○議長(公爵德川家達君) 日程第三、共通法案、政府提出、第一讀會ノ續、委員長報告

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載錄ス以下之ニ倣フ〕

其通法案
右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

大正七年二月十九日

右特別委員長

公爵德川慶久

貴族院議長公爵德川家達殿

(小字ハ委員ノ修正、
ハ削除ノ符號ナリ)

共通法

第一條 本法ニ於テ地域ト稱スルハ内地、朝鮮、臺灣又ハ關東州ヲ謂フ
前項ノ内地ニハ樺太ヲ包含ス

第二條 民事ニ關シ一ノ地域ニ於テ他ノ地域ノ法令ニ依ルコトヲ定メタル
場合ニ於テハ互ニ法令ヲ同クスルモノト看做ス二以上ノ地域ニ於テ同一
ノ他ノ地域ノ法令ニ依ルコトヲ定メタル場合ニ於テ其ノ相互ノ間ニ付亦
同シ

民事ニ關シ地域ニ依リ法令ヲ異ニスルトキハ法例ヲ準用ス此ノ場合ニ於

テハ各當事者ノ屬スル地域ノ法令ヲ以テ其ノ本國法トス

第三條 一ノ地域ノ法令ニ依リ其ノ地域ノ家ニ入ル者ハ他ノ地域ノ家ヲ去
ル

一ノ地域ノ法令ニ依リ家ヲ去ルコトヲ得サル者ハ他ノ地域ノ家ニ入ルコ
トヲ得ス

陸海軍ノ兵籍ニ在ラサル者及兵役ニ服スル義務ナキニ至リタル者ニ非サ
レハ他ノ地域ノ家ニ入ルコトヲ得ス但シ徵兵終決處分ヲ經テ第二國民兵
役ニ在ル者ハ此ノ限ニ在ラス

第四條 一ノ地域ニ於テ成立シタル法人ハ他ノ地域ニ於テ其ノ成立ヲ認ム
前項ノ法人ハ他ノ地域ニ於テ其ノ地ノ同種又ハ類似ノ法人ト同一ノ私權
ノ法令ニ依リ

於テ之ヲ爲ス
コトヲ得ス
ヲ享有ス

第五條 一ノ地域ノ法人ハ其ノ事務所若ハ營業所ヲ他ノ地域ニ移轉シ又ハ
從タル事務所若ハ營業所ヲ他ノ地域ニ於テ設立スルコトヲ得但シ主タル
事務所又ハ營業所ノ移轉ハ移轉地ニ於テ設立スルコトヲ得ヘキ法人ト同
種ノ法人ニ限リ之ヲ爲スコトヲ得

前項ノ移轉又ハ設立ニ必要ナル條件ハ各地域ノ法令ノ定ムル所ニ依ル

第六條 一ノ地域ノ法人大カ其ノ事務所若ハ營業所ヲ他ノ地域ニ移轉シ又ハ從タル事務所若ハ營業所ヲ他ノ地域ニ於テ設立シタルトキハ四週間内ニ各其ノ地ノ法令ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ規定ハ法人ニ關シ一ノ地域ニ於テ生シタル事項ニ付他ノ地域ニ於テ登記ヲ爲スヘキ場合ニ之ヲ準用ス

第七條 一ノ地域ノ會社ハ他ノ地域ニ於テ生シタル事項ニ付他ノ地域ニ於テニ於テハ前條第一項ノ規定ヲ準用ス

前項ノ合併ニ必要ナル條件ハ各地域ノ法令ノ定ムル所ニ依ル

第八條 一ノ地域ノ法人ノ役員ノ行爲ニ付定メタル過料ノ規定ハ其ノ地域ニ於テ他ノ地域ノ同種又ハ類似ノ法人ノ役員ノ爲シタル行爲ニ之ヲ適用ス

前項ノ役員トハ發起人、理事、監事及之ニ準スヘキ者並清算人ヲ謂フ

第九條 民事訴訟及非訟事件ニ付一ノ地域内ニ住所ヲ有セサル者○又ハ他ノ地域ノ法人ノ裁判管轄ニ關シテハ民事訴訟法、人事訴訟手續法及非訟事件手續法中日本ニ住所ヲ有セサル者又ハ外國法人ノ裁判管轄ニ關スル規定ヲ準用ス

前項ノ規定ノ適用ニ付裁判管轄ノ指定ニ關スル司法大臣ノ職務ハ朝鮮、臺灣又ハ關東州ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣總督又ハ關東都督之ヲ行フ

第十條 一ノ地域ニ主タル營業所又ハ住所ヲ有スル者ニ對シテハ其ノ地域ニ於テノミ破產ノ宣告ヲ爲スコトヲ得

一ノ地域ニ於テ破產ノ宣告ヲ爲シタルトキハ他ノ地域ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得ス

第一條 一ノ地域ニ於テ爲シタル破產ノ宣告ノ效力ハ他ノ地域ニ及フ

第十一條 一ノ地域ニ於テ民事訴訟、非訟事件又ハ破產事件ニ關シテ爲シタル訴訟行為、裁判、處分其ノ他ノ手續上ノ行爲ハ他ノ地域ニ於ケル法令ノ適用ニ關シテハ其ノ地ノ法令ニ依リ爲シタルモノト同一ノ效力ヲ有ス但シ其ノ地ノ公ノ秩序又ハ善良ノ風俗ニ反スルトキハ此ノ限ニ在ラス力ヲ有ス

第十二條 一ノ地域ニ於テ作成シタル公正證書其ノ他法令ニ依リ官署公署

ノ作成シタル文書ハ他ノ地域ニ於テ其ノ地ノ法令ニ依リ作成シタルモノト同一ノ公正ノ效力ヲ有ス

第十三條 一ノ地域ニ於テ罪ヲ犯シタル者ハ他ノ地域ニ於テ之ヲ處罰スルコトヲ得

第十四條 刑事ニ關シ一ノ地域ニ於テ他ノ地域ノ法令ニ依ルコトヲ定メタル場合ニ於テハ互ニ法令ヲ同クスルモノト看做スニ以上ノ地域ニ於テ同一ノ他ノ地域ノ法令ニ依ルコトヲ定メタル場合ニ於テ其ノ相互ノ間ニ付亦同シ

一ノ地域ニ於テ他ノ地域ノ犯罪ヲ處斷スル場合ニ於テハ前項ノ場合ヲ除ケノ外異ニスルトキハ犯罪地ノ法令ニ據ル但シ笞刑ニ關スル規定ハ此ノ限ニ在拉斯

犯罪地ノ法令ニ據リ處斷スヘキ場合ニ於テ處斷地ノ法令ニ笞刑ニ關スル規定アルトキハ其ノ規定ニ依リ笞刑ノ言渡ヲ爲スコトヲ得

第十五條 一ノ地域ノ法人ノ役員又ハ支配人ノ行爲ニ付定メタル刑罰ノ規定ハ其ノ地域ニ於テ他ノ地域ノ同種ノ法人ノ役員又ハ支配人ノ爲シタル行爲ニ之ヲ適用ス

前項ノ役員ニハ第八條第二項ニ掲タル者ノ外輸査役ヲ包含ス

第十六條 一箇ノ刑事事件又ハ牽連スル數箇ノ刑事案件カ地域ヲ異ニスル數箇ノ裁判官廳ノ管轄ニ屬スルトキハ刑事訴訟法第二十七條及第二十八條ノ規定ヲ準用ス

第十七條 一ノ地域ノ檢事、檢察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者他ノ地域ノ管轄裁判官廳ニ於テ事件ヲ審理スルコトヲ適當ト認ムルトキハ其ノ地域ノ檢事、檢察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者ニ之ヲ送致スルコトヲ得

一ノ地域ノ豫審又ハ第一審ノ裁判官廳他ノ地域ノ管轄裁判官廳ニ於テ事件ヲ審理スルコトヲ適當ト認ムルトキハ檢事、檢察官又ハ其ノ職務ヲ行フ者ノ請求ニ因リ決定ヲ以テ其ノ地域ノ管轄裁判官廳ニ之ヲ移送スルコトヲ得

第十八條 一ノ地域ニ於テ刑事ノ訴訟若ハ即決處分又ハ假出獄ニ關シテ爲シタル裁判、處分其ノ他ノ手續上ノ行爲ハ他ノ地域ニ於ケル法令ノ適用ニ關シテハ其ノ地ニ於テ爲シタルモノト同一ノ效力ヲ有ス

第十一條第一項但書ノ規定ハ私訴ニ之ヲ準用ス

第十九條 一ノ地域ニ於テ爲シタル刑ノ執行猶豫ノ言渡又ハ假出獄ノ處分ハ他ノ地域ニ於テ其ノ地ノ法令ニ依リ之ヲ取消スコトヲ得

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム但シ第三條ノ規定ニ付テハ別ニ其ノ施行期日ヲ定ムルコトヲ得

本法ハ本法施行前ニ生シタル事項ニ付亦之ヲ適用ス但シ第一條○及第十○第一項八條○第一項規定ノ適用ニ付テハ人ノ資格ニ基ク既成ノ效果ヲ妨ケス

本法施行前ニ宣言シタル破産ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル

〔公爵德川慶久君演壇ニ登ル〕

○公爵德川慶久君 是ヨリ共通法案ノ特別委員會ノ御報告ヲ致シマス、第一ニ委員會ノ經過ト結果ヲ申上グマス、此委員會ハ前後九回ニ亘ツテ會議ヲ致シマシタ、質問及大體ニ亘ル討議ヲ終リマシテ、逐條討議ニ入ルニ先ダッテ、一委員ヨリ動議ガアリマシタ、即チ本案ニ付テ多少修正ヲ試ミテ見タイ、付テハ政府ト十分懇談ヲシ、意見ヲ交換スル目的ヲ以テ小委員會ヲ……五名ヨリ成ル小委員會ヲ作リマシテ、サウシテ審議ノ進捗ヲ圖リタイト云フ御意見ガ出マシタ、ソコデ委員會ニ於キマシテハ、此處置ハ審議進行上頗ル當ヲ得テ居ルモノトシマシテ、茲ニ小委員會ガ成立イタシマシタ、委員會ノ御希望ニ依リマシテ、委員長ハ五名ノ委員ヲ指名イタシマシタ、既ニ御承知ノコトデアラウト考ヘマスガ、岡野敬次郎君、荒井實太郎君、富井政章君、高橋作衛君、江木翼君ノ五名ヲ指名イタシマシタ、ソコデ此小委員會ハ三回ニ亘ツテ、十分政府ト意見ノ交換ヲセラレテ、其結果、御手許ニ差出シテアルト考ヘマスガ、修正案ガ成立チマシタ、之ヲ本委員會ハ總テ至當デアルト認メマシテ、斯様ニ修正可決ヲ致シタ次第ゴザイマス、次ニ此法案ノ内容ニ付テ委員會デ審査シタ模様ヲ少シ御話シ申上グテ見タイト思ヒマス、先づ順序ト致シマシテ、此法案ノ性質ハ既ニ御承知カト考ヘマスガ、簡單ニ制定ニナッタ由來ト、ソレカラ其要旨ニ付テ申上ゲヤウカト考ヘマス、現行制度ノ下デハ内地ト朝鮮、臺灣及關東州ハ各々違ツタ別箇ノ地域ヲナシテ居ツテ、互ニ法令ガ違ツテ居ルニモ拘ラズ、之ヲ相互共通聯絡スル所ノ規定ガナカッタ爲ニ、各地域、法律上ノ抵觸問題ト云フモノヲ解決スル途ガナカッタノデアリマス、ソコデ政府ニ於キマシテハ明治四十五年以來、内閣ノ下ニ共通法規調査委員會ナルモ

ノヲ設ケマシテ、銳意之ガ缺陷ヲ補フベク法案ノ研究ヲ致サレマシタ、其成案ガ即チ今回提出ニナッタ此共通法案デアリマス、無論其要旨ハ、各殖民地ノ内地間ニ於ケル民事ト刑事ノ抵觸問題ヲ解決スルト云フコトガ主タル目的デアリマス、ソコデ先ヅ第一ニ民事ニ關シマシテハ臺灣民事令、朝鮮民事令竝ニ關東州裁判事務取扱令ヲ以チマシテ内地ノ民法商法又ハ民事訴訟法ニ據テ發生シタ私法上ノ效果ト云フモノガ他ノ地域ニ及バヌト云フコトニナッテ居リマス、例へバ之ヲ例ヲ以テ申上グマスレバ、外國ノ商事會社ハ其成立ヲ認メテ居リマスケレドモ……認メテ從ツテ内國ノ會社ト同ジャウニ私權ノ享有ヲ致スコトガ出來マスケレドモ、朝鮮又ハ臺灣ノ法令ニ基イテ出來タ會社ハ内地ノ會社ニモアラズ、外國會社ニモアラズト云フヤウナ結果ヲ來シマシテ、從ツテ事務所ヲ設立スルトカ或ハ營業スルトカ云フコトヲ認メテ居ラナイ結果ニナルノデアリマス、是ハ甚ダ不條理デアリマスノデ、即チ此案ニ於キマシテハ各植民地ニ於テ内地ノ法令ニ依ルコトヲ定メテ居ル場合ニ、其形式ガ違ツテ居ツテモ同ジ法律ヲ施行シタモノト看做シマシテ、サウシテ何レノ地域ニ於テモ其地ノ法令ヲ適用スルト云フヤウナコトニ極メラレテ居リマス、ソレカラ唯法令ガ違ツテ居ル場合ニハドウスルカト言ヘバ、國際私法的規定デアル法例ヲ準用スルト云フコトニ致シテ、法律ノ抵觸問題ヲ解決シテ居リマス、ソレカラ第二ノ刑事ノ問題デゴザイマスガ、是ハ矢張リ民法ノ場合ト同様デゴザイマシテ、臺灣刑事令、朝鮮刑事令、關東州裁判事務取扱令等ヲ以テ内地ノ刑法、刑事訴訟法等ニ依ツテ居リマスケレドモ、矢張リ同様ニ形式ノ違ツテ居ル結果トシテ、甲地域ノ犯罪ヲ乙地域デ處罰スルコトガ出來ナイト云フ結果ニナッテ居リマス、ソレデアリマスカラ例ヘバ臺灣ニ於テ重大ナル犯罪ヲ行ッタ者ガ内地ニ來タ場合ハ之ヲ處罰スルコトガ出來ヌト云フ結果ガ生ジテ居ツタノデアリマス、是ハ甚ダ不都合デアルノデ、ソコデ各地域ノ司法機關ハ何レノ地域ニ於ケル犯罪モ之ヲ處罰スルコトガ出來ルコトニ第一一致シマシテ、而シテ其處罰スル場合、何レノ法令ヲ適用スルカト云フコトニ關シテノ地域ニ於テ他ノ地域ノ法令ニ依ツテ居ル場合ニハ、各々其形式ガ違ツテモ其地域ニ於ケル法律ト同ジモノト見テ、之ヲ處斷スル地域ノ法律ニ

依ルト極メテ居リマス、ソコデ其他ノ場合、即チ法令ガ同ジデアル場合ニハ
犯罪地ノ法令ニ依ッテ處斷スルト云フコトヲ極メテ、十五條以下數條ニ於キ
シテハ斯様ナモノデアルトカ、刑事事件ノ管轄デアルトカ、執行猶豫
デアルトカ、假處分ノ取消デアルトカ、色々規定イタシテ、此刑事ニ關スル
或ハ申上ゲテ置ク方ガ御参考ニナルカモ知レヌト云フヤウナ點ヲ一二申上ダ
テ置キタイト思ヒマス、第一ハ領事裁判管轄區域ヲ何故ニ之ヲ一地域トシテ
認メナカッタノデアルカト云フ點デアリマス、是ハ政府ノ所見ト致シマシテ
ハ、此共通法ハ領事裁判管轄區域ト全ク別ノ種類ノモノデアル、元來帝國ノ
領事ガ外國ニ於テ領事裁判權ヲ行フ場合ニ帝國ノ法令ヲ適用シマスガ、是ハ
即チ謂ハユル法ノ屬人的效力ヲ認メルノデアッテ、決シテ領事裁判區域ニ對
シテ屬地的效力ガアルノデナイト云フ解釋ノ結果、領事裁判ト云フモノハ全
ク本案トハ種類ノ異ナッタルモノデアルト云フ解釋ヲ採ッテ居ラレル、ソレデ
本案ニハ入レラレヌト云フコトデアリマシタ、ソレカラ尙ホ領事ガ裁判ヲス
ル場合ニ内地ノ裁判所ガ之ヲ共通法ヲ適用スルト同様ニ、各地域ニ關スル場
合ニ矢張リ此共通法ノ適用ヲ受ケルデアラウ、斯ウ云フ風ナ御見解デアッタ
ヤウデアリマス、ソレカラ第二ノ點モ申上ゲテ置ク方ガ宜カラウト思ヒマス
ノハ、何故ニ本案ガ民事ト刑事ニ限ッタノデアルカ、共通法規ナルモノヲ加
ヘル必要ハナカッタカドウカト云フ點ニ付テ御質問デゴザイマス、是ハ政府
ニ於キマシテハ前ニ申上ゲマシタ共通法規調査委員會モ初メカラ民事刑事ニ
限ッテ調べ居ツテ、且ツ共通法規ハ今日ノ殖民地ノ制度ヲ維持シテ居ル以上
ハ各々其地域ニ於テ事情ヲ異ニシテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ一概ニ統一
スルトカ云フコトハ殆ド不可能デアルコト考ヘテ、唯一部分ニ付テ規定ス
ルコトニ付テモ今日ノ場合、民事ト刑事ニ關スル程、急ヲ要スルモノデアル
マイ、又或モノニ付テハ研究ヲ致シテ居リマスト云フヤウナ點モ御質問ガゴザ
ト思ヒマス、ソコデ其外船舶ニ關シテ統一、或ハ船舶法ニ關シテノ共通規定
ハ必要デナイカト云フヤウナ御質問ガゴザイマシタ、ソレカラ次ニハ内地及
殖民地間ノ轉籍ノ自由ヲ認メル必要ガナイカト云フヤウナ點モ御質問ガゴザ
イマシタ、ソレカラ第五條ト致シマシテ司法機關ノ統一ト云フコトハ政府ハ
考ヘタコトハナイカト云フヤウナ御質問モゴザイマシタ、ソレカラ第六ニハ

同一ノ地域内ニ於テ人ニ依ツテ法ヲ異ニシテ居ル場合ニ付テ本案ニ規定ヲ入
レル必要ガナカッタカドウカト云フヤウナ點ノ御質問モゴザイマシタ、其外
基礎的觀念ト致シマシテ、關東州ニ於ケル立法問題ニ付テノ御質問ガゴザイ
マシタシ、稅法ニ付テノ御質問モゴザイマシタ、是等ニ付テ政府委員ノ所見
ヲ一々述ベルコトハ餘リ煩雜ニナリマスカラ、御必要ガアレバ申上ゲルト致
シマシテ、是等ハ唯斯ウ云フ御質問ガアツタト云フダケニ止メテ置キマス、ソ
コデ之ヲ要スルノニ、大體ニ於テ委員會ハ此法案ハ從來ノ法律ノ不備ヲ補フ
コトガ出來ルノデアリマスカラ、速ニ是ガ實施セラル、コトヲ希望シタノデ
アリマス、ソレカラ共通法規ノ或モノニ付テハ將來御審議ノ上、統一スルコ
トヲ必要トスルモノハ統一シ、共通的規定ニ依ツテ之ヲ共通スル場合ガ必要
デアレバ十分御審議ノ上、更ニ提出セラル、コトヲ希望イタシマシテ、今日
ノ場合民事ト刑事ニ限ラレタコトハドウモ已ムヲ得ナイコトデアラウト云フ
コトニ一致イタシマシテ、全會一致デ本案ノ大體ニ付テハ贊成ヲ表セラレタ
ノデアリマス、併ナガラ唯箇條ニ付テ、委員ノ中ニ色々御意見ガゴザイマシ
テ、多少修正セラレタノデアリマス、其修正ノ箇條ニ付テ修正シタ理由ヲ、
少シ細カイコトニナリマスケレドモ、一應申上ゲテ置ク必要ガアラウカト考
ヘマスカラ、チョット其點ヲ申上グマス、御手許ニ出テ居リマス通リ修正サ
レタ箇條ハ七八箇條ゴザイマシテ、第一ハ第二條デゴザイマス、サウシテ一
番問題ニナリマシタノハ第二條ト第十四條、即チ民事ニ關スル總則的規定、
刑事ニ關スル總則的規定、是ガ一番問題ニナツタヤウデアリマス、從ツテ其論
點ニ付テ簡單ニ申上ゲテ置カウト思ヒマス、原案ハ「民事ニ關シ一ノ地域ニ
於テ他ノ地域ノ法令ニ依ルコトヲ定メタル場合ニ於テハ互ニ法令ヲ同クスル
モノト看做ス」ト云フノガ原案デゴザイマスガ、即チ此意味ハ一ノ地域ニシ
テ他ノ地域ノ法令ニ依ルト云フ形式的意味ニ之ヲ解シテ居ルノデアツ
テ、サウシテ其結果律令デアリ、法律デアルノモ間ハズ、之ヲ全ク同ジ法律ト
看做スノデアル、從ツテ其適用ハ各ノ地域ニ於テ其地域ノ法律ヲ適用スルト
云フ意味ニ政府デハ解シテ居ラレル、ソコデ第一段ノ議論ト致シマシテハ、一
ノ地域ニ於テ他ノ地域ノ法令ニ依ルト云フ形式ノ意味ニ解シタ方ガ總テノ點ニ付テ便宜デア
ウデアリマス、是ハドウモ形式ノ意味ニ解シタ方ガ總テノ點ニ付テ便宜デア
ラウト云フコトデ、法令ニ依ルト云フコトハ形式ニ依ル、形式ヲ主トシテ考

ヘルト云フ主義ニ依リマシタ、從ツテ、サツスレバ例ヘバ朝鮮ガ内地ノ民法ニ依ツテ居ルト云フ場合、内容實質ガ全ク同ジモノデアリマスカラ、茲ニ特ニ法令ヲ同ジクスルモノト看做スト云フ必要ハナイデナイカ、寧ロソレヨリハ進ンデ其適用ニ付テ此ニ書ク必要ガアリハシナイカト云フコトデ、唯今ノ修正ニナツテ居リマス通リ「各地域ニ於テ其ノ地ノ法令ヲ適用ス」ト云フコトニ修正下サレタ次第デアリマス、此二條ノ終ニ「ニ付」ト云フ字ガゴザイマス、是等ハ皆唯今ノ形式主義ヲ執リ、又唯今法令ヲ同ジクスルモノト看做スト云フ字ヲ削ッタ結果カラ來タ字句ノ修正デアリマス、第二條ノ二項ハ即チ法令ヲ同ジクシテ居ラナイ場合ヲ全部指シタノデアツテ、是モ矢張リ二條ノ第一項ノ修正ノ結果デゴザイマス、ソコデ第十四條モ全ク同ジデゴザイマスカラ、此ニ同時ニ申上ゲテ置カウト思ヒマス、其次ハ第四條デゴザイマスガ、是ハ法人ノ成立ヲ認メルト云フ規定デゴザイマスガ、此規定ハ第一項ニ於テ「一ノ地域ニ於テ設立シタル法人ハ他ノ地域ニ於テ其ノ成立ヲ認ム」ト云フノガ第一項デゴザイマスカラ、然ラバ其認メラレタ法人ハ如何ナル範圍ノ私權ヲ内地ニ於テ享有スルカト云フコトノ範圍ヲ決メルノガ第二項デゴザイマスガ、原案ニ依リマスルト「前項ノ法人ハ他ノ地域ニ於テ其ノ地ノ同種又ハ類似ノ法人ト同一ノ私權ヲ享有ス」斯ウ云フコトニナツテ居リマスケレドモ、若シスウ云フコトニ致シマスト、同種又ハ類似ノ法人ガナカッタ場合ニハドウスルカ、成立ハ認メテ居ルガ、私權ヲ享有スル範圍ガ明瞭デナイト云フ點ト、ソレカラ同種又ハ類似ノ法人ガ假ニアッタ致シマシテモ、朝鮮ニ於テノ法令ノ下ニ成立シタ會社ガ、内地ノ會社ガ内地デ爲シ得ナイコトヲ内地デ爲スト云フコトハ甚ダ不公平ニナリハシナイカト云フコトノ爲ニ、茲ニ修正ノ通りニ「前項ノ法人ハ他ノ地域ノ法令ニ依リ同種又ハ類似ノ法人ノ爲スコトヲ得サル事項ハ其ノ地ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得ス」ト云フコトニ修正サレマシタ、ソコデ次ハ第八條デゴザイマスガ、是ハ簡單ナモノデゴザイマシテ、法人ノ役員ノ範圍ガ明瞭デナイ爲ニ、特ニ茲ニ法人ノ「役員トハ發起人、理事、監事及之ニ準スヘキ者並清算人ヲ謂フ」唯役人ノ解釋デゴザイマス、第九條ハ是ハ原案ノ意味ヲ明瞭ニシタダケノ修正デゴザイマス、ソレカラ第十條ノ修正ハ破産ノ場合デゴザイマスガ「一ノ地域ニ於テ破産ノ宣告ヲ爲シタルトキハ他ノ地域ニ於テ之ヲ爲スコトヲ得ス」ト云フノヲ削ッタノデアリマス、是ハ第三項ノ「一ノ地域ニ於テ爲シタル破産ノ宣告ノ效力ハ他ノ地域ニ及フ」ト

云フ之ニ十分含マレヤシナイカト云フ意味デ是ガ削ラレマシタ、ソレカラ第十四條ハ唯今二條ト同時ニ申上ゲタト同ジデアリマス、ソレカラ第十五條デ進ンデ其適用ニ付テ此ニ書ク必要ガアリハシナイカト云フコトデ、唯今ノ修正ニナツテ居リマス通リ「各地域ニ於テ其ノ地ノ法令ヲ適用ス」ト云フコトニトデアリマシテ、特ニ此ニ加ヘタダケノ趣意デゴザイマス、ソレカラ附則ノ第二項デゴザイマスガ、是ハ第十一條及第十八條ノ二項ハ全ク茲ニ適用ガナインデゴザイマシテ、唯法文ヲ明瞭ニスル爲ニ入レタ字ニ過ギマセヌ、大體修正ノ趣意ハ斯様デゴザイマスガ、之ヲ要スルノニ修正ノ趣意ハ本案ヲ斯様ニ修正スルニ非ザレバ同意スルコトガ出來ナイト云フ趣意ノ修正デハナインデアリマシテ、本案ヲ益完璧ナラシムルト云フ趣意ノ修正デゴザイマスルカラ、政府ニ於テモ此修正ニ全部同意ヲ表サレマシタコトヲ茲ニ御断リ致シテ置キマス、ソレカラ第三條ニ付テ委員外デハゴザイマスルガ河村讓三郎君ガ籍ノコトニ付テ御心配ニナリマシテ、委員會ニ於テモ亦小委員會ニ於テモ御意見ヲ御述ベニナリマシタ、併シ其御意見ハ本案ヲ以テ十分……一箇條ヲ加ヘルコトナクシテ解決ガ出來ルデアラウト云フコトデ是ハ省カレテ居リマスガ、此點モ附加ヘテ一言申上ゲテ置キマス、大體右様ナ内容ヲ以チマシテ本案ハ修正ヲ可決イタサレタ次第デゴザイマス、茲ニ最後ニ一言申上ゲテ置キタイコトハ本委員會ハ相當ノ長イ日子ヲ費シテ居リマス、併シ是ハ非常ニ慎重ニ審査ヲ致シタ結果デアリマス、此點ハ特ニ御了承ヲ願ツテ置キタイト思ヒマス

〔河村讓三郎君演壇ニ登ル〕

○河村讓三郎君 唯今委員長ヨリ極メテ詳細ナル御報告ヲ承ハリマシテゴザイマスルガ、私ハ十分ニ理解ヲ致シテ本案ニ賛成ヲ表シタイト考ヘマスガ故ニ、尙ホ二三質問ヲ致シマシテ、専門ノ政府委員ノ御説明ヲ煩ハシタイト存ジマス、内地ノ者ト朝鮮其他新領土ノ者トガ婚姻又ハ養子縁組ヲナス場合ニハ家ノ關係ガ如何ニナルカト云フコトハ第三條ノ一項ニ規定サレテ居リマスルガ、離縁又ハ離婚ノ場合ハ如何ナルカト云フコトニ付テ未ダ十分ニ了解シ得ザル點ガアリマスルガ故ニ、私ハ離婚ノ場合ト離縁ノ場合トヲ區別イタシマシテ、成ルベク簡単ニ質問ヲ致シマス、離婚ノ場合ニ關シマシテ先づ承ハリタイノハ、朝鮮ニ於テハ離婚ヲ認メヌト云フコトデアリマスルガ、別居ノヤウナ慣習デモナインデアリマスルカ、佛蘭西ニ於テ一時離婚ヲ禁止シタル

時代ニハ別居ノ制ガ行ハレテ居ツタノデアリマスルガ、朝鮮ニハソレニ類スル慣習デモナイノデアリマスルカ、夫婦ノ間ガ不和ニナッテ、争ヒガ絶エズ、日夜虐待、侮辱ヲ受ケテモ婚姻關係ヲ繼續シテ、同居ノ義務ガアルト云フコトデハ、内地ノ者ガ其子女ヲ朝鮮ニ婚嫁セシムルノニ躊躇イタシ、同化ノ上ニ少カラザル影響ヲ及ボスコトト考ヘマス、次ニ承ハリタイノハ、朝鮮ノ女ガ内地ノ家ニ婚嫁イタシマシタル後離婚トナル場合ニハ、内地ノ法律ニ依リマスレバ、實家ニ復籍スルノデアリマスルガ、其實家ハ内地ニハナイ朝鮮ニアリマスル、加之朝鮮ノ法令ハ離婚復籍ト云フコトヲ認メナイノデアル、ソレ故ニ家ノ關係ガ如何ニナルカト云フ疑ガ生ズルノデアリマスルガ、政府委員ハ初メハ離婚ノ場合ニモ第三條ノ一項ニ依ッテ定マルデアラウト云フヤウニ説明セラレマシタ、併シサウシマスルト、離婚ノ後尙ホ婚家ニ居据ワルト云フガ如キ、内地ノ觀念デハ不倫ナル結論ニナリマスノデアリマス、其故ニ後ニハ此場合ニハ内地ニ於テ一家ヲ創立スルノデアルト云フヤウニ御説明ニナッタト考ヘマス、ソレニ類似ノ例ガアルト言ッテ示サレマシタノハ、外國ノ女ガ日本ノ家ニ婚嫁イタシマシテ、後ニ離婚トナルトキニハ本國ノ國籍ヲ回復スルトキニハ日本ノ國籍ヲ失フ、本國ノ國籍ヲ回復スルトキニハ日本ノ國籍ヲ失フト云フコトガ國籍法ノ十九條ニ規定シテアル、日本ノ國籍ヲ失フトアレバ、ソレデ家ノ始末ハ付クノデアル、然ルニ本國ノ國籍ヲ回復セザル者モアル、左様ナ者ハ日本ノ國籍ヲ失ハナイ、依ッテ日本ニ一家ヲ創立スルモノトシテ取扱ヲ致シテ居ルト云フコトデアリマシタ、ソレハ其通リニ相違ナイ、其通リデ宜イ、併シ國籍法ハ御承知ノ通リ民法其他諸法典ト共ニ條約改正ノ前勿々ノ間ニ公布セラレタンデアリマス、外國ノ女ガ離婚シテモ本國ノ國籍ヲ回復シナイ、從ツテ日本ノ國籍ヲ失ハナイトキニハ一家ヲ創立スルノガ適當デアルヤ否ヤ、ソレガ適當デアレバ法文ヲ以テ明カニスルノハ適當デアルヤ否ヤト云フヤウナコトマデ審議スル暇ノナカッタコトハ當時ノ事情ニ依ッテ想像スルコトガ出來ルノデアリマス、若シ夫レ民法ニ至ツテハ家族制度ノ觀念ニ基イテ、家ノ興廢ト云フコトヲ極メテ重キコトニ見テ居ルノデアリマス、而シテ明カニ此場合ヲ規定シテ居リマス、離婚トナツタ者ハ實家ガ廢絶家ニアツタ場合ニハ一家ヲ創立スル、戸主ニ復籍ヲ拒マレタ場合ニハ一家ヲ創立スル、ソレドヽチヤント定マッテ居ルノデアリマス、私ハ其方ガ立法トシテハ完全ナル、適當ナル方法デアルト信ジマスノデアリマス、果シテ然ラバ實家

ガ内地ニナイト云フ場合ニ於テモ一家ヲ創立スル者トスルナラバ、其事ヲ明カニ共通法ニ規定セラレルカ、若シ又共通法ハ適當デナイト云フナラバ、將來適當ノ機會ニ於テ、例ヘバ親族法改正等ノ機會ニ於テ明カニ其事ヲ規定シテ誤解ナカラシムルト云フ御考ハナキヤ否ヤ、是ヨリ離縁ノ場合ニ關シテ質問ヲ致シマスル、離縁ノ場合ハ離婚ノ場合トハ異ニシテ、朝鮮ニ於テモ離縁復籍ヲ認メルノデアリマス……朝鮮ニ於テモ離縁復籍ヲ認ムル、又朝鮮ノ養子縁組ハ同姓ノ間ニ限ル、姓ヲ同ジウスル者ノ間ニ限ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、朝鮮人ガ日本人ガ朝鮮人ノ養子トナルコトハアリマスマイガ、朝鮮人ガ日本ノ家ニ養子トシテ這入ルコトハアラウト思ヒマス、現ニ朝鮮ニ於テハ内地人ト朝鮮人ト待遇ヲ異ニスル場合ガアルト云フコトヲ聞イテ居リマス、朝鮮人が内地人ノ養子トナッテ優等ノ待遇ヲ得タイト考ヘルコトモアラウト思ヒマス、其者ハデス、本案ノ第二條 ソレカラ法例第十九條等ニ依リマスト、離縁トナルコトモアルノデアリマス、其者ガ離縁トナル場合ニハ矢張リ一家ヲ創立スルノデアルヤ否ヤ、實家ガ内地ニナイカラ矢張リ一家ヲ創立スルノデアルヤ否ヤ、既ニ述ベタル如クデス朝鮮ニ於テモ離縁復籍ヲ認メルノデアリマスカラ、實家ニ復籍スルモノト致シテモ朝鮮ノ風俗慣習ト相容レナイト云フ虞レハナイ、寧ロ實家ニ復籍スルト云フガ自然ノ解決デアルト考ヘルカモ知レヌト思ヒマス、日本ニ一家ヲ創立スルト云フヤウナコトニスルヨリカモ知レヌト思ヒマス、日本ニ一家ヲ創立スル場合ノ方ニ準ズルノガ適當デアリマスカラ、但シ外國人ノ方ハデス、甲ノ國ノ國籍ヲ失フコトガデス、國籍法ニ規定シテアリマス、一面其場合ニハ本國ノ國籍ヲ回復スルト云フコトガ其國ノ國籍法ニ明カニ規定シテアリマス、之ニ依ッテ甲國ノ家ト乙國ノ家トノ聯絡ガチャント付クヤウニナッテ居ル、國籍法ノ規定ガ雙方ニアリマスカラ、一方ヲ出レバ一方ニ這入ルト云フコトニチャント聯絡ガ國籍法ニ依ッテ付イ

シ内地ノ法令ノ適用ニ依ルトスレバ甲ノ地域ノ法令ガ乙ノ地域ニマデ延長スル結果ニナル、又朝鮮ノ法令ノ適用ナリト云ヘバデス、離縁ノ效力ヲ二分シテ……效力ノ二分デス、實家ニ復籍スル方ノ一半ハ朝鮮ノ法令、ソレカラ養家ヲ去ルト云フ方ノ一半ハ内地ノ法令ニ依ルト云フヤウナコトニナリハシマセヌカ、ソレトモデス、此場合ニハ内地ノ法令ト朝鮮ノ法令トノ區別ガナクナル、單獨唯一ノ法令ガ兩地域ノ上ニ行ハレテ、其法令ノ適用ニ依ツテ實家ニ復籍シ、養家ヲ去ルモノトナルノデアリマスガ、何レニシテモ其根據ガナクテハナラヌト思フノデス、國籍ニ關スル國籍法ノ如キ根據ガナクテハ家ノ關係ガ定マラナイト思フノデアリマス、若シ其根據トナルベキ明文ガアレバ其明文ヲ示サレタイ、又明文ガナクトモデス、立法ノ主義原則ニ依ツテ左様ナ、結果ニナルト云フコトデアレバ其主義原則ヲ示サレタイ、私ハ將來ノ誤解ヲ避ケル爲ニ此質問ヲ致スノデアリマス、以上ニ質問ノ趣旨ヲ明カニスル爲ニ多少ノ理由ヲ附加ヘマシタ、要スルニ私ノ質問ハ三ツノ簡単ナル點ニ止マルノデアリマス、第一、内地人ガ朝鮮人ノ家ニ婚嫁シタル場合ニ於テハ離婚モ出來ズ、別居ガ出來ザルヤ否ヤ、第二、朝鮮ノ女ガ内地ノ家ニ婚嫁シタル後離婚トナレバ一家ヲ創立スルト云フ御見解ナレバデス、他日相當ノ機會ニ於テ明カニ規定スルヲ可トスルノ御考ハナキヤ、第三ハ朝鮮人ガ内地ノ家ニ養子ニ入ツテ後離縁トナレバ一家ヲ創立スルヤ、朝鮮ノ實家ニ復籍スルヤ、若シ朝鮮ノ實家ニ復籍スルモノトスレバ、ソレハ如何ナル規定又ハ主義原則ニ從ヒ、如何ナル法令ノ適用ニ依ルモノナリヤ、此第一ト第二トデス、唯右トカ左トカ、一言御答ヲ得マスレバ満足ヲ致シマス、第三ノ點ハ私ノ未ダ了解シ得ザル點ニアリマスルカラ、成ルベク親切ニ御説明アラムコトヲ希望イタシマス

〔政府委員有松英義君演壇ニ登ル〕

○政府委員(有松英義君) 唯今河村君ヨリ詳細ナル演説ヲ以テ御質問ガゴザイマシタガ、此件ニ付テハ委員會ニ於テ十分講究サレマシタノデアリマス、殊ニ小委員會ニ於テ詳細ニ瓦リテ研究ニ相成ツタノデアリマス、故ニ尙ホ詳シクハ委員ノ御方ヨリ御答辯ニ相成ル場合モアルカモ知レヌト想像イタスノデゴザイマス、大體ニ於キマシテ第一ノ點、即チ朝鮮ニ於テハ離婚ヲ許サザル古來ノ習慣デアル、此場合ニハ別居ヲ許スヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、別居ヲ許シマスル趣ニ承知イタシテ居リマス、第二ニハ例ヘバ内地ニ於キマ

シテ朝鮮人ガ離婚ヲ致シマスル場合ニ、一家ヲ創立スルヤ否ヤ、是ハ創立イタスデアラウト存ジマス、尙ホソレニ付テ明確ニ法律ノ改正ヲ行フ見込デアルヤ否ヤト云フ御尋ねデアッタヤウニ存ジマスル、是ハ今後尙ホ研究ヲ致シテト存ジマス、篤ト研究ヲ致ス積リデゴザイマス、第三ノ離縁ノ場合ニ於テ、朝鮮ニ歸ル、斯ウ云フ場合ニ於テ朝鮮ニ於テ復籍イタスニハ、朝鮮ノ法規ニ依ツテ復籍イタスデアラウト存ジマス、而シテ朝鮮ノ法規ニ依ツテ朝鮮ノ家ニ入リマスルガ故ニ、共通法第三條第一項ノ適用ヲ受クマシテ内地ノ家ヲ去ルコトニ相成ルノデアラウト存ジマスル、其外國籍法ヲ御引用ニナリマシタル種類ノ御議論ハ承ハリマシタガ、要スルニ共通法ハ各地域ニ於ケル關係聯絡ヲ規定イタスノニ止マルノデアリマシテ、例ヘバ或ル地域内ニ於テ一家ヲ創立スル手續如何、其他ノ規定ヲ要スルコトノアルヤ否ヤト云フガ如キコトハ、各地域ノ法令ヲ以テ必要ニ應ジテ將來立法ヲ致スベキモノデゴザイマス、共通法ノ範圍外ニ屬スルコトト考ヘテ居ルノデゴザイマス、大體是ダケ御答ヲ致シテ置キマス

〔岡野敬次郎君演壇ニ登ル〕

○岡野敬次郎君 先刻ノ河村博士ノ質問ニ對シマシテハ、唯今政府委員ヨリ答辯ガアッタノデアリマスルカラ、此以上ノコトハ附加ヘル必要モナカラウト考ヘルノデアリマスル、河村君ノ御質問ニ相成ツタル問題ハ、同君ノ非常ニ熱心ニ御研究ニナッタ所ノ問題デアリマシテ、既ニ特別委員會ニ於キマシテモ、委員長ノ許可ヲ得、委員會ノ決議ヲ經テ、此問題ヲ提出セラレ、更ニ本案ガ小委員會ニ付託ニナリマシタル後ニ於テモ、小委員會ニ特ニ出席ヲ致サレマシテ、サウシテ同一ノ問題ヲ提出セラレ、小委員會ハ特ニ二時間程ノ時ヲ割イテ此問題ノ討議ニ盡シタノデアリマス、其結果ニ付テ尙ホ或ハ河村君ガ御不満足デアルカト信ズルノデアリマスルガ、更ニ此議場ニ於テ御質問ニ相成ツタノデアリマス、小委員會ニ於キマシテハ唯今申上ゲマシタ通リニ慎重ニ此問題ヲ議シテ、特ニ河村君ト小委員トノ間ニ於キマシテモ十分ニ意見ノ交換ヲ致シタ積リデアリマス、而シテ河村君ノ此問題ニ付テノ頗ル御熱心デアル用シナカツタト云フ 理由ヲ簡單ニ御報告ヲ致シタイト思フノデアリマス、河

村君ノ第一ノ問題ハ離婚ノ問題デアリマス、朝鮮ニ於キマシテハ原則トシテ離婚ヲ認メテ居ラヌサウデアリマスル、ソレデ若シ朝鮮ノ女子ガ内地人ニ嫁シタ場合ニ於テハ朝鮮ノ法令ニ依リマシテ離婚ガ出來ナイノデアリ、内地ノ法律ニ依レバ離婚ガ出來ルノデアル、ソレデ内地人ニ嫁シタ場合ニ於テ離婚ト云フモノニナツタナラバ、朝鮮ハ離婚ヲ認メナイノデアリマスカラ、實家ニ復籍スルト云フコトハ無論ナイノデアリマス、内地ノ法律ニ依レバ離婚ヲ求メタ場合ニハ實家ニ復籍スルノデアル、ソレデ内地法ノ定ムル所ニ依ッテ實家ニ復籍スルト云ウテ見テモ、朝鮮ノ法令ニ於テハ朝鮮ノ家ニ入ルコトガ出来ナイコトニナルノデアリマス、此場合ニ付テドウナルカト云フコトガ河村君ノ御質問ノ點デアッテ、而カモ河村君ハ小委員會ニ於テ此問題ヲ解決スルガ爲ニ共通法規ニ一ノ明文ヲ設ケタイト云フ御意見デアッタノデアリマス、此問題ハ先刻河村君ガ質問中ニ御述ベニナリマシタ通り、我ガ民法ハ何ト定メテ居ルカト云ヘバ、民法ハ此復籍スベキ實家ノ廢絶、即チ廢家絶家ノ場合ニ於テハ一家ヲ創立シト云フコトガ規定シテアルノデアリマス、是ハ民法ノ定ムル所ハ復籍スベキ實家ノ廢家絶家ノ場合ヲ特ニ法律ガ規定シテ居ルノデアッテ、廣ク復籍スベキ家ナキトキハ一家ヲ創立ストハ書イテナインデアル、ソレガ故ニ今朝鮮ノ女子ガ内地人ニ嫁シタ場合ニ離婚セラレテ、サウシテ歸ルベキ家ガナイト云フノハ此民法ノ正條ニ謂フ所ノ廢家デモナケレバ絶家デモナイ、元ト復籍スベキ家ガナインデアル、是ガ故ニ特ニ明文ヲ掲ゲテ、或ハ一家ヲ創立スルガ適當デアルナラバ一家ヲ創立スト云フ明文ヲ置イタラ宜カラウデヤナイカ、宜カラウトスウ云フノデアリマスガ、我ガ民法ヲ我ミドモ討究ノ末ニ解釋ヲ致シマシテ、民法ニ於テ認ムル所ノ家ナキト云フノハ、廢家絶家ノ場合シカナイノデアルケレドモ、併ナガラ復スベキ家ガナイト云フ場合ハ、此共通法ノ關係ニ於テ、即チ朝鮮人ト内地人ノ關係ニ於テ今ノヤレタル國籍法ノ關係ニ於テモ矢張リ同様ナ解釋ヲ取ッテ居ルノデアル、而カモ此國籍法ノコトニ付テハ、河村君ハ或ハ適當ナル解釋デアルカモ知レヌト云フマダ御話ニナルノデアリマスカラ、此朝鮮女子ノ内地人ニ嫁シタ場合ニテハ、矢張リ民法ノ解釋ニ於テ一家ヲ創立スト云フコトニシテ何等差支ナイ、而シテ假ニ此問題ニ付テ明文ヲ設クルモノトシテモ、共通法規ニ設クル

ガ適當デアルカ、或ハ民法ニ特ニ明文ヲ掲グルノガ適當デアルカト云フ問題モ、矢張リ小委員會ニ於テハ議シタノデアリマス、デ若シ明文ヲ設ケルトシテ、河村君ノ抱カレル所ノ疑ヲ解決スルガ適當デアルトスルナラバ、ソレハ共通法規ノ問題ヨリモ寧ロ民法ノ問題デアルカラ、民法ニ特別ノ規定ヲ設クルガ適當デアルト云フコトデ、遂ニ共通法ノ外ニ此問題ヲ致シタノデアリマス、ソレカラ次ニハ養子離縁ノコトデアリマスルガ、養子ノ制度ト云フモノハ私モ朝鮮ノ慣習ヲ能クハ承知ヲ致シマセヌケレドモ、併ナガラ異姓ハ養ハズト云フコトハ確カニ朝鮮古來ノ慣習デアルヤウデアリマス、デアリマスカラ同姓デナケレバナラヌ、其同姓デアルト云フコトノ意味ハ、養子緣組ヲ爲スニ付テ、養フ方ダケガ同姓デナケレバナラヌカ、養子ニヤル方ノ側モ同姓ガ相手デナケレバナラヌカト云フコトハ、是ハ私ハ一つノ疑問デアルト思フトハ朝鮮ノ慣習デアルトシテ、内地人ガ朝鮮人ノ養子ニナルト云フコトハ、是ハ明カニ異姓ヲ取ッテ以テ養フノデアルカラ、ソレハアルマイト思フ、朝鮮ノデアリマス、ソレデ河村君ハ同姓デナケレバ養子緣組ハ成立セヌト云フコトハ朝鮮ノ慣習デアルトシテ、内地人ガ朝鮮人ノ養子ニナルト云フコトハ、是ハ明カニ異姓ヲ取ッテ以テ養フノデアルカラ、ソレハアルマイト思フ、朝鮮人ガ内地人ノ養子ニナルト云フコトハ是ハ有ルデアラウ、又アルモノトシテノ御意見デアッタノデアリマス、ケレドモ是ハ私ハ疑問デアルト思フノデアリマス、實際ドウ云フヤウニ解決ヲ朝鮮ニ於テセラレテ居ルカハ知リマセヌガ、養子緣組ト云フモノニ付テ同姓ヲ要スルナラバ、ヤル方モ貰フ方モ同姓デナケレバナラヌト云フコトハ、私ハ通常ノ解釋デアラウト思フノデアリマス、ソレガ故ニ若モ内地人ガ朝鮮人ノ養子ニナルコトガ出來ヌト云ヘバ、朝鮮人モ朝鮮ノ法令ニ依レバ矢張リ内地人ノ養子ニナルコトガ出來ヌト云フノガ私ハ當然デハナイカト思ヒマス、併ナガラ是ハ私ハ朝鮮ノ古來ノ慣習ノコトヲ能ク承知イタシマセヌカラ、斯ノ如クニ斷言シテ、果シテ誤リガナイカドウカト云フコトハ、是ハ此所デ私ハ申上ゲルコトガ出來マセヌガ、少クモ私ハ一ツノ大ナル疑問トシテ自分ハ考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ假ニ河村君ノ御見解ノ通り、朝鮮人ガ内地人ノ養子トナルコトガ出來ルトシテ、而シテ其養子ガ離縁ニナツタ場合ニハドウナルカ、斯ウ言ヘバ、朝鮮ノ法令モ養子緣組ノ謂ハユル離縁ヲ認メ、内地ノ法令モ亦離縁ヲ認メ、而シテ其離縁ノ場合ニ於テハ朝鮮ノ法令モ内地ノ法令モ、共ニ實家ニ歸ッテ行クノデアルト云フ原則ヲ執ッテ居ルノナラバ、此時ハ朝鮮人ガ内地人ノ養子トナッテ他日離縁セラレタナラバ、何レノ法規ニ依ルモ實家ニ歸ルノデアル、ソレガ即チ第三

條第一項ノ定ムル所デ「一ノ地域ノ法令ニ依リ其ノ地域ニ入ル者ハ他ノ地域ノ家ヲ去ル」ト云フコトニナルノデアリマス、若シ此場合ニ於テ河村君ノ御意見ニアル如ク、或ハ内地ノ法令ノ效力ガ朝鮮ニ及ブトカ、或ハ自己ノ行爲ヲ二分シテ、半バハ朝鮮ノ法令ニ依リ、半バハ内地ノ法律ニ依ルト云フヤウナ見解ヲ執ラネバナラヌト云フコトデアリマシタナラバ、是ハ婚姻ノ成立シタ場合ニモ矢張リ同様ノコトヲ言ハナクテハナラヌノデアル、婚姻ヲシタナラバ其婚姻ノ效力ハ、婦タルモノハ夫ノ家ニ入ルト云フコトハ、朝鮮ニ在ツテモ内地ニ在ツテモ同ジデアリマスガ、其場合ニ朝鮮ノ法令ガ内地ニ及ブト云フノデモナケレバ、内地ノ法律ガ朝鮮ニ及ブト云フノデモナイ、其婚姻ノ效果ヲ半バハ朝鮮ノ法令ニ依ツテ判断シ、半バハ内地ノ法律ニ依ツテ判断スルト云フノデモナナイ、ソレノ如キハ最モ明カニ第三條第一項ノ支配スル場合デアルノデアリマスカラ、ソレデ此離縁ノ場合ニ付テモ、若シアリトスレバ第三條第一項ノ規定ノ適用デ沟ニ明瞭ナコト、其明瞭デアルコト婚嫁ノ場合ニ於ケルト同ジコトデアリマス、小委員會ニ於テハ是等ノ問題ニ付テ、唯今御報告ヲ致ス通リ慎重ニ審議ヲ致シマシテ、而シテ河村君ノ御提出ニナッタ所ノ問題ハ共通法規ニ採ラズ、或ハ共通法規以外ノ問題トスルト云フコトニ決定イト思フノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス
○公爵徳川慶久君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス
○平山成信君 贊成
○男爵高木兼寛君 贊成
〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○伯爵吉井幸藏君 演壇ニ登ル
貴族院議長公爵徳川家達殿
右特別委員長
伯爵 吉井 幸藏

○伯爵吉井幸藏君 此法案ヲ提出ニナリマシタ理由ハ現在ノ補助貨幣ガ形體ガ過大ニ失スルノト、銀價ガ騰貴シタ場合ニ補助貨ヲ鑄潰ス危険ガアル、此二ツノ理由デアリマス、銀價ノ騰貴イタシマシタコトハ、大正三四年頃マデハ、二十三四片デアリマシタノガ、大正五年度ノ初メ頃ヨリ段々騰貴イタシマシテ、昨年ノ末ニハ五十五片ト云フ高イ值ヲ出シタ位デアルノデアリマス、現在ノ銀貨ニ二種アリマシテ、大キイ方ヲ舊銀貨ト稱シ、小サナ方ヲ新銀貨ト稱シテ居リマスガ、此舊銀貨ハ三十二片、三片位ニナリマスト鑄潰點ニ達スルノデアリマス、新銀貨ハ四十三片位デ鑄潰點ニ達スルノデアリマス、然別委員長ノ報告ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス
○公爵徳川慶久君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス
○平山成信君 贊成
○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開イテ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕
○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス
○議長(公爵徳川家達君) 第三讀會ヲ開キマス……第二讀會ノ決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕
○議長(公爵徳川家達君) 第三讀會ヲ開キマス
○議長(公爵徳川家達君) 衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告
○議長(公爵徳川家達君) 貨幣法中改正法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也
大正七年二月十九日

銀貨ノ實價ガ五十五片ノ時ニハ……銀價ガ五十五片ノ時ニハ、五十錢ガ何程ノ價值ニナルカト云フコトヲ調べマスト云フト、五十錢ノ銀貨ガ殆ド八十四

錢ニ當リマス、新銀貨ハ六十三錢ニ當リマス、二十錢ガ三十錢位ニ當リマス、舊貨ガ……、新銀貨ノ方デモ二十五錢位ニナリマス、斯様ナ次第デアリマシテ、鑄潰サレルモノガ多イノミナラズ、銀貨ノ儘デ外國ニ輸出サレル處モア

リマス、ソレヲ防グ爲ニ現銀貨ノ品位ヲ下ゲ、若クハ量目ヲ下ゲマシテ、鑄潰點ヲ高クシテ、其危險ノナイヤウニシタイト云フ目的ノ案デアリマス、斯様ナコトデ鑄潰ナドヲスルコトハ勿論是ハ法規ニ依テ禁ゼラレテアルコト

デアリマスクレドモ、矢張リ根本カラ鑄潰ノ出來ナイヤウニ、鑄潰シテモ利益ノナイ程度マデニ仕更ヘタ方ガ得策ダト云フ譯デアリマス、ソレデ本案ノ如ク改正イタセバ其目的ヲ達スルノデアリマシテ、餘ホド形モ小サクナリマスルガ、又補助貨幣ニ含シデ居リマスル銀ノ量目ガ大キニ減リマス、ソレデ此改正案デハ鑄潰點ヲ凡ソ六十五片位マデ銀ガ騰貴シテモ、鑄潰シテモ利益ハナイト云フ程度マデニ改正ニナル譯ニナッテ居リマス、此六十五片ト云フノハ統計表ヲ見マスルト云フト、凡ソ二百年餘ノ間銀ノ騰貴シタ平均ガ六十五片ヲ越シタコトハナイヤウデアリマス、ノミナラズ各國又凡ソ此標準ヲ皆採ツテ居ルノデアリマス、此通リ改正ニナリマスレバ貨幣ノ品位モ相當ニ保チ、外觀モ宜シクテ、製造上ノ都合モ宜シイ、サウシテ鑄潰點ガ相應高クナリマスカラ鑄潰サレル危險モナクナル、斯様デアリマシテ委員會ニ於キマシテハ洵ニ適當ナ案ナリト認メマシテ、全會一致ヲ以テ可決スベキモノナリト議決イタシマシテゴザイマス、本會ニ於キマシテモ、ドウゾ委員會ノ決議通リ御決議アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半數ト認メマス

○伯爵吉井幸藏君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
○男爵中川興長君 贊成

〔其他「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス
〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第二讀會ヲ開キマス……委員長報告通り御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵八條隆正君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ第三讀會ヲ開キマス……第二讀會ノ決議通り御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第五、登錄稅法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

登錄稅法中改正法律案

右可決スベキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

大正七年二月二十日

右特別委員長

伯爵 松平 直之

貴族院議長公爵徳川家達殿
〔伯爵松平直之君演壇ニ登ル〕

○伯爵松平直之君 登錄稅法中改正法律案特別委員會ノ經過及結果ヲ御報告イタシマス、此案ニ付キマシテハ二十日ニ開會ヲ致シマシテ、正副委員長ノ互選ノ後引續イテ會議ヲ開キマシタ、二三ノ質問ハゴザイマシタガ、満場一致ヲ以テ原案ヲ可決イタシマシタ、此法案ノ骨子ハ詰リ産業組合、産業組合聯合會、產業組合中央會、漁業組合、又ハ漁業組合聯合會ニ付キ産業組合法

又ハ漁業法ニ基キテ爲ス登記、其登記料ヲ免除シテヤル、ソレハ總テノ唯今

申上ゲマシタ組合ヲ補助スル爲メ免ジテヤルト云フノデアリマス、洵ニ此案

ハ、簡單ナ案デゴザイマシテ、詰リ此十九條ニ五號ヲ一つ加ヘマシテ、之ヲ加

ヘマスレバ六條中ノ三項乃至五項ハ自然消滅シマス、其三項ト申シマスノハ

詰リ拂込金ノ登錄稅、是ハ千分ノ五ニ當リマス、參考ノ爲ニ政府委員ニ伺ヒマ

シタガ、大正五年度ノ末ニハ一萬三千僅カノモノデアリマス、洵ニ少數ナモノ

デアリマス、是ハ委員會ニ於キマシテモ原案ヲ可決スルガ至當デアラウト云

フコトカラ、原案ノ通リ賛成イタシマシタ、是ハ前申シマシタ通リ洵ニ簡單ナ

案デゴザイマス、ドウカ讀會ヲ省略シテ御議決アラムコトヲ希望イタシマス

○伯爵正親町實正君 賛成

○子爵西大路吉光君 讀會省略賛成

○子爵榎本武憲君 賛成

○伯爵奥平昌恭君 賛成

○子爵八條隆正君 賛成

○男爵高木兼寛君 賛成

○男爵石黒忠惠君 賛成

○平山成信君 賛成

○小野田元熙君 賛成

○男爵阪井重季君 賛成

〔其他「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 讀會省略ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 三分ノ二以上ト認メマス……委員長ノ報告ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 日程第六、未成年者飲酒取締ニ關スル法律案、衆議院提出、第一讀會

未成年者飲酒取締ニ關スル法律案

右本院提出案及送付候也

大正七年二月二十一日

衆議院議長大岡育造

貴族院議長公爵德川家達殿

未成年者飲酒取締ニ關スル法律案

第一條 營業上酒類ヲ供給スル者ハ未成年者ニ酒類ヲ飲用セシメ又ハ其ノ

自用ニ供スルコトヲ知リテ販賣若ハ給與スルコトヲ得ス

第二條 前條ニ違反シタル者ハ十圓以下ノ科料ニ處ス

附 則

本法ハ大正七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○男爵阪谷芳郎君 政府ニチヨット質問ヲ致シタウ存ジマス

○議長(公爵德川家達君) 御登壇ヲ願ヒタウゴザイマス

○男爵阪谷芳郎君 極ク簡単デゴザイマスガ……

○議長(公爵德川家達君) 其方ガ政府委員ニ能ク聞エルダラウト思ヒマス

〔男爵阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○男爵阪谷芳郎君 本案ハ此度デタシカ第九回、衆議院カラ本院ニ御送付ニナツタト考ヘテ居リマス、洵ニ多年ノ問題デゴザリマスルガ、本院ニ於カレマシテモ、過日本會議ニ於テ段々政府ニ御質問ノアリマシタヤウニ、國民ノ健

康ヲ改良スルト云フコトニ付テハ隨分强硬ナル御議論ガ起リ、又近年青年ノ風儀ノ墮落ヲ矯正スルト云フコトニ付テハ、本院ニ於テハ厚キ御議論ガ段々

アリマスヤウデゴザイマス、此法案ノ如キハ國民ノ健康ヲ改良シ、又青年ノ風儀ヲ改善スル上ニ付テ極メテ必要ナ精神ヲ以テ出來テ居ルト考ヘルノデアリマスルガ、聞ク所ニ據リマスレバ、此度ハ政府ハ衆議院ニ於テ本案ニ同意セラレタト云フコトヲ承知イタシマシタノデゴザイマスルガ、政府ノ本案ニ對スル御意見ヲ承ハッテ置キタウ存ジマス

〔政府委員水野鍊太郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(水野鍊太郎君) 御答ヘ致シマス、此案ハ唯今阪谷男爵ノ御述ベニナリマシタ如ク、度々衆議院ヨリ提出セラレマシテ、而シテ本院ニ回付セガアルノデアリマス、ソレハ此案ハ今日ノ案デハ酒類ノ營業者ニ對スル取締ニナツテ居ルノデアリマス、從ツテ此法案ハ實施上ニモ困難ヲ感ゼズ、相當取締モ爲シ得ラレルモノト信ジテ居ルノデアリマス、且ツ未成年者ニ飲酒セシメ

ナイト云フコトハ、唯今阪谷男爵ノ御述ベニナリマシタ通リニ、健康上並ニ風儀上ニ於キマシテモ適當ト考ヘテ居ルノデアリマス、但シ此事ハ必シモ法律ヲ以テノミ矯正スル事柄デハナイノデアリマスルガ、併シ法律ヲ以テ斯クノ如キ取締ヲ爲スト云フコトモ、是亦適當ノコトト信ジマスルガ故ニ、政府ハ此案ニ對シマシテハ大體ニ於キマシテ贊成ノ意ヲ表シタ次第ゴザイマス。

○三宅秀君 本員ハ政府委員デナク、國務大臣ノ答辯ヲ願ヒタイ考デ此事ニ付テ質問ヲ致ス積リデアリマスガ、去ル十三日デゴザイマシタカ、租稅增徵ノトキニ石黒男爵竝ニ鎌田君アタリカラ質問ガ出マシテ之ニ答ヘラレタノハ、國務大臣ノ中、大藏大臣カラ稅ノコトデアリマスカラ御答ガゴザイマシタ、本員ハ總理大臣若クハ内務大臣ニ伺ヒタイノデゴザイマスガ、抑、此度ノ歐羅巴ノ戰が始リマスルト早々ニ、露西亞、英吉利、佛蘭西、伊太利等ニ於キマシテ、禁酒條例ヲ出シテ居リマス、是ハ國民全體ニ禁酒サセル方ノ法令デアリマス、亞米利加ハ其以前カラ……戰ニ無關係デ禁酒令ヲ布イタ所ガ彼方此方ニアルヤウデアリマス、參戰後ハ尙ホ一層此禁酒ノコトヲ嚴重ニ規定シマシテ、殆ド各州共ニ禁酒ノ有様デアルヤニ承ハッテ居リマス、此十三日ノトキノ質問ニ對シテハ、國家ノ莫大ナル財源デアルカラドウモ之ヲ改メ、若ク

ハ廢スルト云フヤウナコトハ出來ナイト云フ 大藏大臣ノ御答デゴザイマシタ、今日ニ於キマシテハ、十三日トハ大ニ景況ガ變ハッテ居リマス、即チ戦爭ハ西ノ方へ向イテ延ベラレマゼズニ、東ノ方ヲ向イテ段々戰ガ殺到シ來ルヤウニ見エマスカラ、付キマシテハ何時カ出兵モ致サナケレバナラヌヤウナコトガアラウト思ハレマス、ソレニ付キマシテノ覺悟ガ必要デアルト思ヒマス、若シ戰ヲ始メルトナリマスレバ、引續イテ工業動員マデモ致サナケレバナラヌ覺悟ガ要ル時期ガ迫ツテ居ルト存ジマス、ソレ故ニ斯ウ云フ場合ニ於テモ、政府ハ稅サヘ澤山取レバ、酒ハ澤山捨ヘテ、サウシテ國民ニ勝手次第ニ飲マセル、十分飲マセル、多々益辨ズルト云フヤウナ御精神ヲ以テ、總理大臣初メ内務大臣アタリノ所デ、サウ云フ御考ガゴザリマスルカ、ソレガ承ハリタイノト、今一つ切迫イタシタコトガゴザイマス、ソレハ外デモゴザイマセヌガ、米價ガ非常ニ騰貴ヲ致シテ居リマスルノデ、此米價ヲ低廉ナラシムル爲ニハ、政府竝ニ其筋ニ於テモ暴利ノ取締デアルトカ、或ハ兩三日前ニ出マシタ防穀令、即チ米麥ヲ濫ニ外國ニ持出サヌト云フヤウナ命令モ兩三日前ニ出テ居ルノデアリマス、此大切ナル米麥ヲ潰シテ酒ヲ捨ヘル方ガ宜

イ、澤山捨ヘル方ガ宜イト云フヤウナコトハ、得策デアリマセウカ不得策デアリマセウカ、ソレ等ノ御攷究モ必ズ廟堂ニ於テハアッタコトデアラウト思ヒマス、ソレガ承ハリタイノデゴザイマス、又酒ノ造リ方ニ於キマシテハ、昔ノ酒ノ造リ方ト云フモノハ、米穀ヲ收納イタシマシテ、サウシテ其年ノ豊ノトキニ拘ラズ米ハドンナニ高クナツテモ、酒ガ高ク賣レルカラト云フノデ、日デハ酒ノ釀造法ガ巧ミニナリマシテ、盛夏ノ暑イ最中デモ酒ノ腐ラヌヤウニ製造スル所ノ方法ガ研究セラレ、是ガ實行セラル、トシテ見ルト、歲ノ豐凶ノ上ニ拘ラズ米ハドンナニ高クナツテモ、酒ガ高ク賣レルカラト云フノデ、幾ラ穀類ヲ潰シマシテモ宜イト云フ御考デアリマスカ、是ハ重要ナ問題デアリマス、些々タル今日ノ此法案ノヤウナ間接ニ未成年者ニ酒ヲ飲マサヌヤウナコトトハ違ヒマシテ、國民全體ニ及ブコトデアリマスルカラ、定メテ兩相ニ於カレマシテモ確乎タル御意見ガゴザイマセウト思ヒマス、ソレヲ承ハッテ置キタイノデアリマス

〔國務大臣男爵後藤新平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵後藤新平君) 三宅君ノ御質問ニ御答ヲ致シマス、先日酒造稅ノトキニ大藏大臣カラモ説明デアッタガ、稅ガ取レサヘスレバ、酒ハドンドン捨ヘテ飲マセルト云フ政府ノ考デアルヤ否ヤ、是ガ第一ノ御質問ノヤウデアリマシタガ、間違ヒアリマセヌカ……政府ニ於テハ勿論此稅ガ取レ、バ外コトガアラウト思ハレマス、ソレニ付キマシテノ覺悟ガ必要デアルト思ヒマス、若シ戰ヲ始メルトナリマスレバ、引續イテ工業動員マデモ致サナケレバナラヌ覺悟ガ要ル時期ガ迫ツテ居ルト存ジマス、ソレ故ニ斯ウ云フ場合ニ於テモ、政府ハ稅サヘ澤山取レバ、酒ハ澤山捨ヘテ、サウシテ國民ニ勝手次第ニ飲マセル、十分飲マセル、多々益辨ズルト云フヤウナ御精神ヲ以テ、總理大臣初メ内務大臣アタリノ所デ、サウ云フ御考ガゴザリマスルカ、ソレガ承ハリタイノト、今一つ切迫イタシタコトガゴザイマス、ソレハ外デモゴザイマセヌガ、米價ガ非常ニ騰貴ヲ致シテ居リマス、帝國ハ之ニ倣ツテ今禁止ヲシムル爲ニハ、政府竝ニ其筋ニ於テモ暴利ノ取締デアルトカ、或ハ兩三日前ニ出マシタ防穀令、即チ米麥ヲ濫ニ外國ニ持出サヌト云フヤウナ命令モ兩三日前ニ出テ居ルノデアリマス、此大切ナル米麥ヲ潰シテ酒ヲ捨ヘル方ガ宜ナル密接ノモノガアッテ、多額ノ穀類ヲ消費スルヤウニナルカラ、今日此米價

騰貴ノ際ニ於テハ大ニ考慮スベキコトデアルト云フノ御趣意デアリマシタ、政府ニ於テモ其點ニハ大ニ考慮シテ居リマス、酒ノ釀造ヲ禁止シテ以テドレダケノ救ヒガ出來ルカ、又ソレダケノ禁止ヲセネバナラヌカト云フコトニ付テハ政府ハ考慮中デアリマシテ、俄ニ左様ナル輕舉ト申シテハ惡イカ知レマセヌガ、輕ミシク斷行スルコトハ出來ナイト考ヘテ居リマス、又政府ハ米價ノ調節ニ付テハ多大ノ注意ヲ拂ッテ居リマスルガ、ソレニ對シテハ一ノ酒ヲ禁止シタ爲ニ之ヲ救ヒ得ルモノトハ考ヘテ居リマセヌ、ソレ故ニ米價ノ騰貴ノ問題ノ爲ニ酒ノ釀造ニ對スル制限、若ハ禁止ヲナスベキモノトハ政府ハ考ヘテ居リマセヌ、第三ニ近來化學的進歩ニ依ツテ酒ハ如何様ニデモ造ラレルモノデアルカラ、賣レサヘスレバ米價ノ騰貴ヲ來スト云フヤウナ場合デモ多額ノ釀造ヲシテ、其影響ヲ生ズルコトヲ顧ミヌト云フコトモ亦アルデアラウト思フ、此邊ニ付テハ政府ハドウ考ヘルカト云フ御質問ノヤウデアリマシタ、是ハ近來ノ化學的進歩ニ付テハ三宅君ノ仰セノ通リデアリマス、併ナガラ之ガ爲ニ米價ニ大ナル影響ヲ及ボシテ、國民ノ生活ニ影響ヲ生ズルカラ、是ハ禁ゼネバナラヌト云フヤウナコトハ、政府ハ多大ノ注意ヲ拂ッテ調査シテ居リマスケレドモ、マダ見出サヌノデアリマス、ソレ故ニ米價ノ調節ニ付テモ多大ノ注意ヲ拂ヒ、國民健康ノ上ニ付テモ亦此酒ノ關係ニ多大ノ注意ヲ拂ッテ居リマスガ、今御質問ノヤウナル意味カラ直チニ禁止スベキモノトハ考ヘテ居リマセヌ

○三宅秀君 唯今私ノ問ノ言葉ガ足リマセヌ爲カ、聊カマダ疑ガゴザイマスル、内閣諸公モ御承知ノ通リニ歐羅巴、亞米利加各國デ禁酒令ヲ出シテ居リマスガ、其禁酒令ノ結果ハ如何ト云フコトハ皆人ガ疑ツテ居リマス、併ナガラ造石高ニ制限ヲスル、之ヲ以テ間接ニ國民ノ飲料ニ豊富ナル、餘り過剩ナル酒ヲ飲マセナイヤウニ制限スルト云フコトハ各國デヤツテ居リマスヤウデアリマスカラ、ソレ故ニ穀物ト……酒ノ釀造ヲ制限ナサル御考ハゴザラヌカ、全ク釀造ヲ禁ズルト云フヤウナコトモ出來ズ、飲酒ヲ禁制シテ仕舞フト云フコトハ勿論出來ヌコトデゴザイマスルガ、或ル手段ヲ以テ必要ナル場合ニハ制限ヲナサラウト云フ御考ハゴザイマセヌカト云フコトヲ承ハッタノデアリマス、今一つハ此席デ申シマスルト異ナモノデアリマスケレドモ、眞面目ニナツテ此度ノ戰爭ニ最良ノ結果ヲ得ヤウト各國デ骨ヲ折ッテ居リマスル中ニ、日本ハ經濟ガ豐カデアリ、彼是レ致スモノデアリマスカラ、國民ガ酒ヲ飲

テ、輕ミシク斷行スルコトハ出來ナイト考ヘテ居リマス、又政府ハ米價ノ調節ニ付テハ多大ノ注意ヲ拂ッテ居リマスルガ、ソレニ對シテハ一ノ酒ヲ禁止シタ爲ニ之ヲ救ヒ得ルモノトハ考ヘテ居リマセヌ、ソレ故ニ米價ノ騰貴ノ問題ノ爲ニ酒ノ釀造ニ對スル制限、若ハ禁止ヲナスベキモノトハ政府ハ考ヘテ居リマセヌ、第三ニ近來化學的進歩ニ依ツテ酒ハ如何様ニデモ造ラレルモノデアルカラ、賣レサヘスレバ米價ノ騰貴ヲ來スト云フヤウナ場合デモ多額ノ釀造ヲシテ、其影響ヲ生ズルコトヲ顧ミヌト云フコトモ亦アルデアラウト思フ、此邊ニ付テハ政府ハドウ考ヘルカト云フ御質問ノヤウデアリマシタ、是ハ近來ノ化學的進歩ニ付テハ三宅君ノ仰セノ通リデアリマス、併ナガラ之ガ爲ニ米價ニ大ナル影響ヲ及ボシテ、國民ノ生活ニ影響ヲ生ズルカラ、是ハ禁ゼネバナラヌト云フヤウナコトハ、政府ハ多大ノ注意ヲ拂ッテ調査シテ居リマスケレドモ、マダ見出サヌノデアリマス、ソレ故ニ米價ノ調節ニ付テモ多大ノ注意ヲ拂ヒ、國民健康ノ上ニ付テモ亦此酒ノ關係ニ多大ノ注意ヲ拂ッテ居リマスガ、今御質問ノヤウナル意味カラ直チニ禁止スベキモノトハ考ヘテ居リマセヌ

○國務大臣(男爵後藤新平君) 三宅君ノ唯今ノ御質問ハ戰時ニ於キマシテ列國デ禁酒ヲシテ居ル、其效果ノ如何ハ固ヨリ今日ニ俄ニ斷定スルコトハ出來ヌト云フコトモ承知イタシテ居ルガ、併ナガラ列國ガ酒ヲ禁止スルト云フコトハ如何ニモ眞面目ナコトデアル、日本デ禁止セヌト云フコトハ甚ダ不眞面目ノコトニ思ハレテ、外聞モ如何ト考ヘラレル、斯ウ云フ御質問ノヤウデアリマス、又造石高ニ制限ヲシタラドウカ、斯ウ云フ御質問ノヤウデアリマス、タシテ居ルコトデアリマス、又獨リ健康上ト云ハズ、道義ノ上ニ付テモ、大臣ノコトニ思ハレテ、外聞モ如何ト考ヘラレル、斯ウ云フ御質問ノヤウデアリマス、又造石高ニ制限ヲシタラドウカ、斯ウ云フ御質問ノヤウデアリマス、タシテ居ルコトニナツテ居リマスガ、是等ノコトハ三宅君モ能ク御承知ノ通リノコトデアリマスカラ、茲ニクダ／＼シク述ブルコトハ避ケマス、ソレカラ造石高ヲ今制限イタシマスヨリ、相當ノ課稅法ヲ以テ之ヲ調節シ、又西洋デ禁止シマスルノニ、コツチデハヤラナイ、ソレデハ他ニ附合ガ惡イ、外聞ガ惡イナドト云フヤウナコトデハ一向ナインデアリマスカラ、此邊ハ顧慮イタシテ居リマセヌ、其酒ニ對スル健康上、道義上ノ觀念ハ全ク國民ノ習俗ノ上ニ於テ大ニ力ヲ盡シテ爲スベキコトト政府ハ考ヘマシテ、此邊ニハ深ク意ヲ用ヒナケレバナラヌト信ジテ居ル次第デアリマス、俄ニ造石高ヲ定メ、又戰時流行ノ潮流ニ當ツテ如何様ナル制度ヲ設ケヤウト云フコトハ、今俄ニ酒ヲ賣ル方ノ酒屋ニ對シテノ取締ゴザイマスガ、畢竟スル所……

○議長(公爵德川家達君) 石黒男爵ノ登壇ヲ望ミマス

〔男爵石黒忠惠君演壇ニ登ル〕

○男爵石黒忠惠君 唯今政府ノ御辯明ヲ承ハリマスト云フト、ソレニハ御同意ヲナサレマシタヤウニモ承ハリマシタガ、私ハ極ク簡單ニ伺ツテ見タインハ、嘗テ出マシタ少年ガ煙草ヲ喫ミマスルコトノ禁止案デゴザイマス、アノ連年ノ結果ヲ内務當局カラ屢々御賈ヒヲ致シテ見マシタコトガゴザイマスガ

一年中ノアレニ對シマシテノ犯罪者ガ或縣ニ於テハ十人ハゴザイマセヌシ、或縣ニ於テハ七百人モアル、人口ノ多寡モゴザイマセウガ、餘リノ相違デゴザ

イマスノデ、ソレヲ當局ニ承ハリマスルト、是ハイロ／＼手心デ擧ゲルモノダト云フ御辯明デアッタ、私ノ考ニハ手心ト云フコトハ一割カソコラノ手心ナラバデゴザイマスガ、十人ト六百七十ト云フ差ハ餘リ其差ガエライヤウニ考ヘマス、ソレハ扱措キマシテ、此法案ガ出マシタトキニハ、右等ノヤウナ差異ノ手心ノ餘リニ我ミニ疑ヲ懷カセヌヤウナ御取締ガ付キマスト云フ御見込ガ確カニゴザイマスデゴザイマセウカ、チヨット伺ッテ置キタイ、ソレカラモウ一つハ此法案ガ出マスルト云フト、煙草ノ方ニモ引續キ少年者ニ煙草ヲ賣ルコトノ取締法案モ何カ出ナケレバナラヌヤウニ均衡上存ジマスガ、是ハサウ云フ御考ガゴザイマスカ、ゴザイマセスカト云フコトヲ伺ッテ見タイ、唯今三宅君カラ之ニ付キマシテ御質疑ノ御言葉ノ中ニ、先日私ガ政府ニ御聽キ致シマシタ彼ノ酒ノ醸造ノコトデゴザイマスガ、私ハアノ時ハ斯ウ云フ考デ伺ヒマシタ、日本デ酒ヲ醸造イタシマスル石高ヲ調べテ見マスルト、丁度外國カラ米ヲ輸入イタシマシテ食料ニ我ガ同胞ガ供シマス高ヨリモ、少々酒ノ造石高ノ方ガ餘計ニナツテ居リマスルデ、此酒ヲ造リマスコトヲ、或ハ葡萄製ノ酒ニ方法ヲ變ヘテ參ルトカ、或ハ何カ他ノ醸造法ニ依ッテ參ルトカ致シマシタナラバ、日常ノ同胞ノ食料ヲ外國カラ仰ギマセヌデモ濟ム、若クハ此仰ギマスル高ニ減少ヲ及ボスヤウナコトハアルマイカ、之ニ付テ其平衡ヲ保タセル爲ニ我シノ食料トスル所ノ米穀ヲ潰シテ酒ニスルト云フ……其酒ニハ稅ガ餘計掛カルトカ何トカ云フコトデ、此米穀ヲ……米ヲ酒ニ醸造イタシマスル傾向ニ向ケテ行クト云フ御考ハアルマイカト存ジマシテ、私ハ伺ヒマシタ、所ガ右等ノコトハ政府ニ於テハチヨットモ考ヘテ居ラヌ、是ハ莫大ノ稅ヲ收入スルコトダニ依ッテ、其方ニ專ラデアルト云フ御答デ、本員ニ於テハ愕然ト致シマシタ、其御答ヲ聽キマシテ、ソレデ重ネテ御答辯ハ伺ハヌノデゴザイマシタガ、唯今三宅君ノ御質疑ガアリマシタカラ、小生ガ質問ヲ致シマシタ趣意ヲ明カニ致シテ置キマスデゴザイマス、之ニ付テ少年者ニ煙草ヲ賣ルコトニ付テモ取締法案ガ出マスルカ如何、マーツハ此法令ガ出マスレバ是ガ行ハレルニ付テ未成年者ノ禁煙法ノヤウニ或縣ニ於テハ十二上ラヌ、或縣ニスカト云フ、此二點ヲ伺ヒマス

〔國務大臣男爵後藤新平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵後藤新平君) 石黒男爵ノ御質問ニ御答イタシマスガ、此度ノ法案ト均衡ヲ得ルヤウニ、煙草ニ付テモ其賣タ者ヲ取締ル方法ガ付クカ付カヌカ、サウ云フコトヲスル積リカト云フ御質問デアッタヤウデアリマス、是ハ「未成年者ニ其自用ニ供スルモノナルコトヲ知リテ、煙草又ハソノ器具ヲ販賣シタル者ハ十圓以下ノ罰金ニ處ス」トアリマスカラ、別ニ此度ノ酒ニ對シテノ制度ガ出マシタカラ、煙草ニ對シテ、ドウシヤウト云フコトノ考ハ政府ニ於テハ有ツテ居リマセヌ、ソレカラ取締上ハドウスルカ、是迄煙草ニ依ッテ研究シテ見ルト甚ダ不公平デアル、其不公平ノ譯ハ手心ト云フコトニアッタ、其手心ヲスルカ、セヌカ、斯ウ云フ御尋デアリマシタガ、是ハ手心ト云フコトヲ惡ク解釋スルト色ニナリマセウケレドモ、善意ヲ以テ解釋シマスト、成ルベク罰シナイデ、之ニ忠告イタシテ置イタ方ガ宜イト云フコトニ力ヲ用ヒテ、感化ヲシヤウト云フ考ヲ以テ努力スル者ガアレバ是亦深ク咎ムベキコトナケレバナラヌト當局ハ考ヘテ居リマス、而シテ強ヒテ統計表面ヲ作ル爲ニ取締デナイヤウニ當局ハ考ヘテ居リマス、而シテ強ヒテ統計表面ヲ作ル爲ニ取締ヲ統一スルト云フコトモ亦間違ツテ居リマスカラ、是ハ趨勢ニ任セマシテ行カナケレバナラヌト當局ハ考ヘテ居リマス、而シテ斯ウ云フ取締ガ出マスノハシテモ是ハ告朔ノ餌羊ダト云フ意義デ當局大臣ガ申上ゲルト云フコトニ御聽キ下サツテハ甚ダ心外デアリマスレドモ、此制度ガ出マシタ所デ、ドレダケノ取締ガ出來テ、ドレダケノ效果ヲ擧ゲルト云フコトハ能ク將來ニ注意ヲ要スルコトデアリマス、併シ今日デモ未成年者ガ煙草デモ喫ンデ居レバソレモ亦斯ノ如シ、斯様ニ考ヘテ居ル、善事ヲ善事トシテ施行シマスノデ、必ズハ法ノ制裁ガアルカラ喫ンデハイカヌ、斯ウ云フノト唯喫ンデハイカヌト云持ツテ居リマス、必ズ之ガ爲ニ其目的ヲ達シ得ルモノデアルカ、斯様ニ申シシ此影響ガ如何ナルモノカ、是ハ餘程講究ヲ要スルコトデアラウト云フ考ヲナケレバナラヌト當局ハ考ヘテ居リマス、而シテ斯ウ云フ取締ガ出マスノハシテモ是ハ告朔ノ餌羊ダト云フ意義デ當局大臣ガ申上ゲルト云フコトニ御聽キ下サツテハ甚ダ心外デアリマスレドモ、此制度ガ出マシタ所デ、ドレダケノ取締ガ出來テ、ドレダケノ效果ヲ擧ゲルト云フコトハ能ク將來ニ注意ヲ要スルコトデアリマス、併シ今日デモ未成年者ガ煙草デモ喫ンデ居レバソレモ亦斯ノ如シ、斯様ニ考ヘテ居ル、善事ヲ善事トシテ施行シマスノデ、必ズハ法ノ制裁ガアルカラ喫ンデハイカヌ、斯ウ云フノト唯喫ンデハイカヌト云統計表ノ上ニ之ヲ平均シヤウト云フコトニ努力スルヤウナコトナク、能ク此

○議長(公爵德川家達君) 御登壇ヲ請ヒマス

〔山脇玄君演壇ニ登ル〕

○山脇玄君　此案ニ付キマシテハ先刻來段々諸君カラ御質問ガアリマシテ、其御答辯デ私ノ質問イタシタイコトハ大半分リマシタガ、一ツ此酒ノ毒ガ人ノ身體精神ニ及ボスト云フコトハ是ハ事實上明カナコトデアッテ、其事ニ關聯シテ、今ヤ諸物價、殊ニ此米ノ騰貴ト云フコトハ非常ナモノデアッテ、之ニ對シテモ當局ハ餘程御注意ニナツテ、近頃外國輸出ノ米麥ニ對シテノ制限令ナドモ御發布ニナツタノデアリマスガ、此點デ伺ッテ見タイコトガアルノデアリマス、此酒ト云フモノガ人ノ身體精神ト云フモノニ及ボス害毒ト云フコトハ、是ハ申スマデモナク……

〔伯爵奥平昌恭君「聽エマセヌカラ、コチラニドウゾ」ト述フ〕

斯ル害毒ノアル所ノ酒ヲ造ル爲ニ費ス所ノ米ノ石數ヲ伺ッテ置キタイ、普通酒

ハ四百萬石程造ルト云フコトデアリマスガ、之ガ爲ニ費ス所ノ精米ハ二百五十萬石以上三百萬石以内アルト云フコトヲ承ハツテ居リマスガ、其石數ハドレ程デアルカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、我ガ内地ニ於テ國民ノ消費スル石數ト云フモノハ是ハ農商務省ノ調査ニ依リマスト云フト、五千四百五十萬石デアツテ供給不足額ガ三百三十萬石デアルト云フコトニナツテ居リマス、三百三十萬石程我ガ國民ガ内地ニ於テ食スル所ノ米ニ不足ヲ感ジテ居ルト云フコトニナツテ居ルヤウデアリマス、今回御發布ニナツタ所ノ米麥輸出制限令ニ依リマスト、ドレ程外國ニ米ガ出テ居ッタカト云フト、是ハ農商務省ノ……

○議長(公爵德川家達君)　此法案ニ關係ガナイヤウニ思ヒマス

○山脇玄君　大分關係ガアリマス、モウ直グ濟ミマス、其制限令ニ依リマスト云フト大抵七十七萬石程外國ニ出テ居ル、斯ウ云フコトニマア見エルヤウデアリマス、此制限令ガ嚴シク行ハレマシタ所デ、七十七萬石ノ米ガ外國ニ出テ行カナイト云フコトニ止マルノデアリマス、此七十七萬石ガ外國ニ行カナイト致シマシテ、前ノ供給不足額ノ三百三十萬石ヨリ減ラシテ見マシタ所デ、マダ二百五十萬石以上米ノ不足ガ出來ルノデアリマス……

○議長(公爵德川家達君)　山脇君此法案ニ直接關係ガナイヤウデアリマスカラ御止メヲ願ヒタウゴザイマス

○山脇玄君　モウ直グ濟ミマス

○議長(公爵德川家達君)　本案特別委員ノ氏名ヲ書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔山脇玄君「モウ直グゴザイマス」ト述フ〕

○議長(公爵德川家達君)　許シマセヌ、御降壇ヲ請ヒマス……御降壇ヲ請ヒマス

〔成瀬書記官朗讀〕

未成年者飲酒取締ニ關スル法律案特別委員

伯爵清棲家教君　子爵堤雄長君　男爵石黒忠惠君
大澤謙二君　黒岡帶刀君　男爵神田乃武君
安立綱之君　江原素六君　網藏平輔君

○議長(公爵德川家達君)　日程第七、農會令中改正ノ請願、會議

農會令中改正ノ件

新潟縣農會副會長本間新作呈出

右ノ請願ハ農會カ未其ノ所期ノ效果ヲ收ムルコトヲ得サルハ會費ノ強制徵收方法ヲ闕キ且町村農會ニ於ケル總會ノ組織不完全ナルニ歸因ス依テ農會令ヲ改正シ會費ノ滯納ヲ國稅滯納處分ノ例ニ依リ徵收スルヲ得シメ且町村農會ノ總會ヲ代議組織トセラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正七年月日

内閣總理大臣伯爵寺内正毅殿

貴族院議長公爵德川家達

○男爵高木兼寛君　第七日程ノ農會令中改正ノ請願ニ付テハ、目下衆議院ニ農會法改正法律案ガ提出ナレマシテ審議中ノヤウニ承知シテ居ルノデアリマス、故ニ今日之ヲ會議ニ付セラレマシタケレドモ、此議事ハ延期サレムコトヲ希望イタシマス、ドウゾ滿場ノ諸君御賛成ヲ願ヒマス

○男爵石黒忠惠君　賛成

○田中源太郎君　賛成

○議長(公爵德川家達君)　高木男爵ノ日程第七ノ會議ハ延期シタケレドモ、此議事ハ延期サレムコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君)　御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第八、「ルベシユベ」ヨリ湧別線ニ達スル鐵道敷設ノ請願、第九、紀勢鐵道速成ノ請願、第十、天鹽線鐵道速成ノ請願、會議意見書案

「ルベシユベ」ヨリ湧別線ニ達スル鐵道敷設ノ件

北海道紋別郡上湧別村平民農須見勝三郎外百七十三名呈出

右ノ請願ハ北見國ハ海陸ノ產物豊富ナルニ拘ラス鐵道ノ敷設未完カラサルハ遺憾ニ堪ヘサルヲ以テ大正十年度ヨリ起工セラルヘキ旭川「ルベシユベ」

間ノ鐵道ニ接續シテ湧別線ニ達スル鐵道ヲ同時ニ敷設セラレタシ而シテ湧別線ニ於ケル分岐點ハ下生田原、遠輕ノ兩驛中最有利ナル地ニ選定セラレタントノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正七年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵寺内正毅殿

意見書案

紀勢鐵道速成ノ件

三重縣南牟婁郡木本町平民魚問屋業南爲太郎外六百七十九名呈出

右ノ請願ハ參宮線ヲ起點トシテ三重縣北牟婁、南牟婁ノ二郡ヲ貫キ紀州沿岸ノ各地ヲ經テ和歌山市ニ至ル紀勢鐵道ヲ敷設スルハ雷ニ同地方一帶ノ豊富ナル資源ヲ開發スルノミナラス交通上並國防上緊要ナルニ依リ曩ニ之ヲ敷設セラレムコトヲ議院ニ請願シ採擇セラレシト雖未敷設セラレサルハ甚遺憾ナルヲ以テ之ヲ速成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正七年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵寺内正毅殿

意見書案

天鹽線鐵道速成ノ件

北海道留萌郡留萌町士族農出田平馬外二百四十八名呈出

右ノ請願ハ北海道天鹽郡天鹽、幌延、沙流ノ三村民等ハ曩ニ當局者ノ公言ニ信賴シテ天鹽線鐵道ノ敷設ヲ待チタルニ當局者ハ計畫ヲ變更シテ北見線ヲ以テ之ニ代へ後又別ニ輕便鐵道トシテ國家經濟上並拓殖上遺憾ニ堪ヘサルニ依リモ天鹽線ノ工事ハ甚遲緩ニシテ國家經濟上並拓殖上遺憾ニ堪ヘサルニ依リ豫定ヲ改メ之ヲ速成セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

大正七年 月 日

貴族院議長公爵徳川家達

内閣總理大臣伯爵寺内正毅殿

○議長(公爵徳川家達君) 是等ノ請願ハ請願委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 是デ本日ノ議事日程ハ終リマシタガ、外務大臣ヨリ外交上ニ關スル御報告ガアル趣デアリマス、外務大臣ニ發言ヲ許シマス

〔國務大臣子爵本野一郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵本野一郎君) 諸君、今日ハ露國ノ狀況ニ關シマシテ一言御報告ヲ申上ダテ置キマス、御承知ノ如ク露西亞ト獨塙間ニハ昨年ノ十二月以來「ブレスト、リトウスク」ニ於キマシテ講和談判ノ會議ガ開カレテ居タノデゴザイマス、然ルニ今月ノ十日ニ至リマシテ御承知ノ如ク雙方間ノ談判ハ破裂ニナリマシテ、獨塙ノ委員ハ「ブレスト、リトウスク」ヲ立去タノデゴザイマス、其當時露國ノ委員ハ講和談判ハ破裂ニナリマシタケレドモ、最早戰爭ハ熄シダモノデアル、而シテ露國政府ハ露西亞ノ全軍隊ニ對シテ復員ヲ命ジヤタウナ次第ゴザイマス、然ルニ獨逸ノ方ニ於キマシテハ講和談判ガ破裂シタ以上ハ戰爭狀態ニ復タノデアルカラ、二月十八日ガ休戰條約ノ切延期日デアリマシタノデ、直チニ露國ニ對シテ再び戰爭行爲ヲ開クコトニナッタノデアリマス、ソコデ露西亞ノ方デハ大ニ驚キマシテ十九日ニ至テ無線電信ヲ以テ獨逸ノ講和條件ハ總テ之ヲ承諾スルト云フコトヲ言ツテヤッタノデアリマス、獨逸ノ方デハ無線電信ヲ承諾ノ趣ヲ承知スル譯ニ行カヌ、書面ヲ以テ承諾ノ趣ヲ申込ンデ來ナケレバ承諾スルコトハ出來ヌト云フコトヲ通知

スルト同時ニ、依然トシテ戰鬪行爲ヲ繼續イタシテ、今尙ホ進行中デゴザイマス、從ツテ獨逸ト露西亞トノ關係ト云フモノハ今日ニ於テ依然トシテ戰爭狀態デアルノデアリマス、露獨ノ關係ガ唯今申上グル通リノ次第ゴザイマスニ依ツテ、段々獨逸軍ハ露都ニ近ヅキツ、アルヤウナ狀態デアリマス、從ツテ露都ニ於キマシテ聯合國ノ使臣ハ之ニ對シテ如何ヤウニ處シタラ宜イカ、露都ガ愈、敵ノ手ニ落チタ場合ニハ聯合與國ノ使臣ハ或ハ捕虜ニナルカモ知レナイト云フ危險ガアリマスノデ、本月ノ二十日ニ五大國ノ使臣ハ會議ノ結果一ト先ヅ露西亞ヲ引上グルト云フコトニ決定イタシタノデアリマス、我ガ内田大使ニ對シマシテハ豫テヨリ訓令ガ出シテゴザイマス、斯ル危急ノ場合ニハ聯合與國ノ使臣ト能ク熟議ヲ遂ゲテ、適宜ノ處置ヲスルヤウニト云フ訓令ヲ下シテアリマス、ソレ故ニ内田大使モ此際兎ニ角一應露都ヲ引上グル方ガ機宜ニ適シテ居ルモノト認メラレテ引上グルコトニシタ、ソレデ汽車其他ノ準備ガ著キ次第今月ノ二十三日頃ニハ立ツ積リアルト云フ電信ガ參ツテ居リマス、ケレドモ其後マダ愈、立タレタカ、マダ立タズニ居ラレルカ、チヨット分リ兼ネテ居リマス、兎ニ角立タレルコトニハナツテ居リマス、聯合與國ノ使臣ガ露都ヲ引上グルト云フ以上ハ聯合與國ト又日本ト露西亞トノ關係ハドウデアルカト申シマスレバ、是ハ此聯合與國、又日露ノ關係ト云フモノハ國交斷絶ト云フ關係デハナイノデアリマス、露都ガ危險ニ陥リマシタカラ一應露都ヲ立チ去ル、私ガ得テ居リマス所ノ情報ニ依リマスト、或國ノ使臣ハ露西亞ノ或ル地點ニ止マルト云フヤウナコトモ言ッテ來テ居リマス、マダ全部露國ヲ引上グルト云フ譯デナインデ、兎ニ角露都ヲ去ルト云フコトデゴザイマス、露獨ノ間ハ未ダ單獨講和ト云フモノハ成立チマセズ、日露ノ間ノ關係ト云フモノハ未ダ國交斷絶ニハナツテ居ナイ、是ガ今日ノ現在ノ狀況デゴザイマス、此事ハ將來ニ取ツテ極メテ重要ナ問題デゴザイマスカラ、御参考ノ爲ニ一應御報告イタシテ置キマス

○江木千之君 外務大臣ニチヨット伺ヒタイノデアリマス、大使ノ引上グルト

云フコトハ唯大使ノ身上ニ萬一怪我デモアッテハナラヌト云フノガ趣意デアリマスカ、露國政府ハ未ダ我國ニ於テ認メテ居ラヌニセヨ、事實上ノコトヲ交渉スルニハ相手ニシナケレバナルマイト考ヘルノデアル、左スレバ段々獨逸ノ勢力下ニ服從シテ來ル以上ハ、西班牙方面ノ如キモ露國ノ力ヲ以テ愈、

防禦シ得ルヤ否ヤト云フコトハ最モ今日懸念ニ堪ヘス次第デアル、是等ノ點ニ付テハ外交官ハ危險ナ場所ヲ避ケルニシテモ、彼ノ國ニ止マッテ相當ニ交渉スベキデハナイカト考ヘラレル、今ノ御報告ニ依ツテ見テモ、或國ノ大使ハ或ル地點マデ引上グルト云フ者モアルト云フコトデゴザイマスガ、我國ノ大使ハ非常ニ關係ガ多イニ拘ラズ、直チニ引上ゲテ歸國スルト云フノハ如何ナル趣意デアリマセウカ、唯此一身ニ危險ノ及ブコトヲ免レムガ爲ガ主デアルカ、將タ私ノ申ス如クニ交渉事件ト云フモノハ更ニ無イノデアルカト云フコトヲ承ハリタイノト、尙ホモウ一箇條ハ斯ノ如ク露西亞ガ獨逸ノ勢力下ニ届シテ參ル以上ハ、イツ何時飛行船ガ浦鹽マデ送ラレ、潛水艇ガ浦鹽ニ來テ組立テラレ、上ニハ飛行機ヲ放チ、海ニハ潛水艇ヲ放ツト云フガ如キコトガナイトハ申サレスノデアリマスガ、露西亞ハ國交斷絶デハナイ、交親國デアル私親國デアルト云フノデ、其飛行機潛水艇ガ現ハレルマデハ政府ハ其儘見テ居ラレルノデアリマスカ、之ニ對シテ豫メ相當ナ處置ヲ執ラレルコトハナイノデアルカト云フコトヲ承ハリタイノデアリマス、尙ホ此他今日ノ形勢ニ差迫ツテ承ハリタイコトガ種々アリマスガ、此公開ノ席デハ差控ヘテ、或ル機會ヲ以テ御尋ヲシタイト考ヘルノデアリマス

〔國務大臣子爵本野一郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵本野一郎君) 江木君ノ紳質問ニ對シテ御答イタシマス、内田大使ガ一應露都ヲ引上グラレルト云フノハ必シモ一身ノ危險ヲ免レルト云フガ如キ理由デ引上グラレルノデハナイノデアリマス、使臣會議ノ節ニ露都ノ今日ノ狀況デハ列國ノ使臣ガ露都ニ止マツテ居テモ大シタコトハ出來ナイ、又若シ此處ニ居ツテ獨軍ノ捕虜ニデモナルト云フコトニナレバ、本國政府ニ對シテ非常ナ迷惑ヲ掛ケルコトデアル、デアルカラシテ此際ハ兎ニ角露都ハ引上グル方ガ宜カラウ、斯ウ云フコトデ皆一應引上グルコトニ決定シタノデアリマス、内田大使カラモ先ヅ哈爾賓マデ引上ゲテ、哈爾賓デ政府ノ訓令ヲ請ヒタイ、斯ウ云フコトヲ言ツテ參ツテ居リマス、デ狀況如何ニ依ツテハ或ハ再び露都ヘ返サヌナラヌコトガナイトモ限ラヌコトデアリマス、此點ハ左様御承知置キヲ願ヒタイノデアリマス、第二ニハ此獨逸ノ勢力ガ段々極東方面ニ及シテ來テ居ルガ、之ニ對シテハ政府デハ如何ナル處置ヲ執ル積リアルカ、ソコラノ所ノ意見ヲ聽キタイ、斯ウ云フ御質問ノヤウニ思ヒマス、獨逸ノ勢力ガ亞細亞方面ニ及ブ、此危險ハ政府ニ於テモ深ク考慮ヲ致シテ居ル次第

ゴザイマス、之ニ關シマスル處置等ノ如キモソレ——考ヘテ居ルコトデゴザ
イマスル、併ナガラ今此席ニ於テ政府ハドウシヤウ、斯ウシヤウト云フコト
ヲ明言スル限りデナイト思ヒマス

○杉田定一君 私モ江木サンノ御尋ニナツタヤウナコトニ付テ伺ヒタイ、曩ニ
總理大臣ハ東洋ノ平和ハ日本ガ雙肩ヲ以テ擔ハニヤナラヌ、兵ヲ東洋ニ起ス
場合ニハ帝國トシテ其決心ヲシナケレバナラヌ、又外務大臣ノ言ハレルニハ
爰デ到底歐羅巴ニ出兵スルトカ、何トカ云フヤウナコトハ、ソレハドウモ唯
今ノ所デハ不可能ノ處置デアルト云フヤウニ傳ヘ聞イテ居ル次第デアリマス
ガ、苟モ東洋ノ平和ヲ攢亂スル所ノ即チ獨逸ノ勢力ガ益々東漸スル場合ニ至ツ
テハ累ヲ帝國ニ及ボス、即チ帝國ノ存立如何ニモソレハ關係スルコトニナツテ
來ルコトト思フノデアリマス、今日外務大臣ガ進ンデ議場へ御出デニナツテ、
御報告ニナツタコトハ私ハ洵ニ感謝スル次第デアリマスガ、ドウモ是ハ説明
スル限リデナイ、是ハ言フコトハ不利益デアルトカ云フヤウナ兎角祕密主義
ヲ……祕密モ宜イガ、餘リ祕密ガ過ギハシナイカ、今日サウ云フコトノナイ
コトハ萬々望ムコトデアリマスルケレドモ、今日世界ノ有様ヲ以テ見レバ、
若シ一朝不幸ニ至レバ、國民ハ老若男女ノ別ナク今日立タナクチヤナラヌ、
即チ全國ノ工業ノ動員モシナケレバナラヌト云フ場合デアル、唯祕密祕密デ
ハ……國民ト共ニ其重任ヲ擔ハニヤナラヌ、ソレヲ唯祕密祕密ト云フコトハ
祕密モ場合ニ依リマス、成ルベク差支ナイ限りハ之ヲ公開シテ御貰ヒシタイ、

今日ノ如キ進ンデ御述ベニナツタ云フコトハ洵ニ宜シイ次第デアリマスル
ガ、唯切ニ望ムコトハ先日總理大臣ノ御述ベニナツタ東洋ノ平和ヲ攢亂シ、累
ヲ帝國ニ及ボスト云フヤウニナツタナラバ、斷乎トシテヤル、此御方針ハ宜シ
イ、併ナガラ御方針ダケデ、實行ガ出來ナイデハイカヌ、支那ニ干渉ハシナ
イト言ハレルガ、事實干渉ガアツタ云フコトデ、方針ダケハ立派デ……

○議長（公爵德川家達君） 杉田君、御質問デスカ、杉田君ニ伺ヒマスガ、政
府ニ對シテ説明ヲ求メラレルノデスカ
○杉田定一君 説明ヲ求メルノデス、ソレデ十分總理大臣ガ御述ベニナツタ
所ノ其御方針ニ基イテ、段々獨逸ノ勢力ガ露西亞ニ及シテ、「ベトログランード」
モ陥落シ、又西比利亞ニ及ビ、又一箇所ニ來テ又一箇所ニ來ル、餘リ是ハ樂
觀ニ過ギテ斯ウ云フコトニナツテ來タノデハナイカト思フ、ソレデ十分一ツ
總理大臣ガ御述ベニナツタコトヲ一ツ實行ヲセラレルヤ否ヤ、唯方針バカリデ

ハイカナイ、十分ソレダケノコトヲ少シモ機宜ヲ誤ラナイヤウニシテ御貰ヒ
シタイト思フノデアリマスガ、又今日ノ西比利亞ノ現狀ト云フモノハサウ云
ソレカラモウ一ツ此機會ニ於テ……屢々本會議ニ御出デニナラヌカラ、此機會
ニ於テ御伺ヒシタインデアリマスガ、滿洲ノコトデアリマス、御承知ノ通り
滿洲ハ日本ガ二大戰役ヲ以テ即チ興亡ヲ賭シテ戰ッタ、各國ニ於テモ支那ト
最モ直接關係ノアル地域ト認メテ居ル、曩ニ北ヲ助ケ、南方ヲ……

○議長（公爵德川家達君） 杉田君、杉田君ニ御注意ヲ致シマス
○杉田定一君 是カラ説明ヲ願ヒタイ
○議長（公爵德川家達君） 議長ノ申スコトヲ暫時御聽キヲ願ヒタウゴザイマ
ス、唯今本野外務大臣ガ報告セラレマシタ問題ダケニ今日ハ願ツテ置キタイ
ト思ヒマス

○杉田定一君 ソレデハ支那ノコトハ今日ハ差控ヘマス、隨分今日ノ西比利
亞ノ狀況ハ如何デアルカ、決シテ憂フベキ所ノモノハナイカ、獨逸ノ勢力ガ
東漸スル憂ハナイノデアルカ、アルトスレバ之ニ對スル處置態度ハ如何ニセ
ラル、カト云フ……サウシテ其點ニ於テ國民ニ安心サセルヤウニシテ御貰ヒ
シタイト云フノデアリマス、此點ニ付テ御説明ヲ願ヒマス

〔國務大臣伯爵寺内正毅君演壇ニ登ル〕

○國務大臣（伯爵寺内正毅君） 唯今ノ杉田君ノ御問ニ對シマシテハ嘗テ本院
ニ於テ述ベマシタ趣旨ヲ實行スルカドウカ、又獨逸ノ勢力ガ東漸スルニ付テ
相當ノ措置ヲ執リ得ルカドウカ、斯ウ云フコトデゴザイマス

〔杉田定一君「モウ一ツ主義ヲ……」ト述フ〕

承知シマシタ、四年以來ノ此戰局ノ結果ガ形勢甚ダ重大ナル次第ニナリマシ
テ、之ニ付キマシテハ嘗テ政府ノ所見ヲ陳述イタシテ置キマシタ通リニ、國家
ニ、遺算ノナイヤウニ注意ヲスル積リテ、總テノコトニ付テ處置シツ、アル
ノデアリマス、併ナガラ新聞其他ノイロノナ情報ハ根據ノナイモノモアリ
マスル、國民トシテハ、冷靜ニ我國ノ前途ヲ懲ラズ適當ナ處置ヲ執ツテ行キ、
國家ヲ安泰ニスルト云フコトガ必要デアルト思ヒマス、政府モ亦此趣意ニ於
テ考ヘテ居リマス、事柄ノ諸君ニ申上ゲテ宣イ時機ニ於キマシテハ又怠ラズ
申上ゲルコトニ致シマスルガ、今日ハ總テノ事柄ガ全クマダ決定モシテ居リ

マセヌ、是ヨリ以上ノコトハ申上ゲル時機デナイト思ヒマス、今日ハ是ダケニ止メテ居キタイト思ヒマス

○高橋作衛君 唯今外務大臣ノ御報告ニナリマシタル範圍デチヨット質問イタシタインデアリマス、内田大使ハ哈爾賓マデ引上ゲルト云フ報告デスガ、此哈爾賓ニ引上ゲルト云フコトハ政府ニ於テ適當ト御考ヘニナッテ居ルノデアリマスカ、場所地點ニ於キマシテ……御承知ノ通り哈爾賓ハ此前ニモ質問イタシマシタ時ニ御答ガアリマシタガ、領事團ト云フモノガアル、而シテ在外同胞ノ危險ト云フヤウナ問題ノ起ツタ時ニハ其領事團ガイロ／＼相談ヲシテ、而シテ手續ヲ經テ同胞ヲ保護スル、日本カラハ直接兵ヲ出スト云フヤウナコトハシナイト云フヤウナ御答ニ伺ッテ居リマシタ、内田大使ハ歸ラレテ居リマシテ、又其領事團ナルモノニ御相談ニナルト云フヤウナコトニナルノデアルカ、私ハ懸念ニ堪ヘナイノデアルガ、斯ノ如キ地點ヲ以テ引上ゲニ適當ナル場所ト御考ヘニナッテ居ルノデアルカ否カト云フノガ第一點、第二ニハ「レニン」政府ハ獨逸ニ對シ無線電信ヲ以テ、講和條件ヲ容レルト云フコトヲ……今度文書ヲ取交ハスト云フヤウナコトニ承ハテ居リマシタガ、之ニ對シテ露西亞ノ他ノ派ハソレヲ適當ト認メルト云フコトニナッテ居ルカ、即チ「レニン」政府ガ實際ナクナッテ他ニ何カ實權ヲ執ルモノガ出來ルト云フヤウナコトガアルノデゴザイマセウカ、如何デアリマスカ、第三ノ點ハ私ハ斯ウ云フ疑ヲ有ツテ居ルノデアリマス、成程總理大臣ニ於カレマシテ、適當ノ時機ニ於テカラニ東洋ノ平和ヲ維持スル所ノ國策ヲ實行スルト申シテ居ラレマス、其國策ヲ實行スルト云フ時機ハ今日デハナカラウカ、或ハ既ニ遅レテ居ルデハナカラウカト云フ疑ガアリマス、例ヘバ英國デアルトカ、佛蘭西デアルトカ、其他ノ國ミノ大使ガ露西亞ニ居リマシテ、而シテ彼等ノ大使ガ踏ン張ツテ見タ所デ實ハ英國、佛蘭西其他ノ勢力ト云フモノハ露西亞ニ及バナイノデアル、及ビ得ルモノハ唯日本アルノミト考ヘテ居リマス、英國佛蘭西其他ノ大使ガ引上ゲルト同時ニ引取ル、始終サウ云フ步調ヲ取ルト云フコトデナク、實力アル國ガ踏ン張ツテ居レバ兎ニ角、日本ガ一日遲レバ一日餘計勢力ヲ回復シナケレバナシヌト云フ虞レガアリマスルガ、即チ其國策ヲ實行スルトキハ今日デハアリマセヌカ、ドウ云フ御考デアリマセウカ、唯今實行スルト云フケレドモ、私ハ實行スル時機ハ既ニ過ギテ居ルト思ヒマス、斯ウ云フ點ヲ以テ實力ノ及バナイ所ノ英佛ノ態度バカリ見テ居ラズニ、モウ御決定ナサル時

機デハナイカ、如何カ、チヨット御伺ヒ致シマス

〔國務大臣子爵本野一郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵本野一郎君) 内田大使ハ哈爾賓マデ一應引上ゲテ、哈爾賓デ政府ノ訓令ヲ請フト斯ウ云フコトニナッテ居ルト云フコトヲ申上ゲマシタラ、一體哈爾賓マデ引上ゲルト云フコトハ宜イト認メテ居ルカドウカ、私ハニ差支ナイト考ヘテ居リマス、第二ノ御質問ハ「レニン」政府ニ代ッテ何カ政府ガ出來サウデアルカドウカト云フ御質問デアリマスルガ、是ハマダ確報ヲ得テ居リマセヌ、ソレカラ第三ノ點ニ付キマシテハ唯今マデ私又總理大臣カラ御答辯ニナリマシタコトノ外ハ、今日ハ御答辯イタシ兼ネマス

○高橋作衛君 問題ノ範圍ガ外務大臣ノ御報告ノアリマシタ範圍デアリマスルカラサウ澤山ハ申シマセヌガ、唯念ヲ押シテ置キマスルガ、哈爾賓ハ適當ノ場所ト思フ、適當ノ場所ト思ハヌト云フ意味ハ、例ヘバ内田大使ガ引上ゲラレテモ外國ノ領事團其他ノ牽制ヲ受ケナイト云フ意味ニ了解シマスガ、其他ノコトハモウ少シ材料ヲ拜聽シテ、其上デ質問ヲ致シマス

〔國務大臣子爵本野一郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵本野一郎君) 唯今ノ御話ハ勿論ノコトト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ノ議事日程ハ決定次第本院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會

〔午後零時三十九分散會〕

大正七年二月二十五日